

平成28年8月・台風10号に関するアンケート

調査結果報告書

平成29年3月

【共同調査主体】 芽室町役場 総務課地域安全係
株式会社サーベイリサーチセンター

【調査監修】 東京大学総合防災情報研究センター 特任助教 定池 祐季

調査結果報告書

目 次

I. 調査概要	02	5 (4) 避難しなかった理由	16
II. 回答者のプロフィール	03	5 (5) 町の情報発信について	17
III. 調査結果の総括	05	6. 日頃の防災意識・備えなど	18
IV. 調査結果の分析	06	6 (1) 好天時でも避難勧告等が継続されることの認知	18
1. 大雨による自宅への被害	06	6 (2) 指定避難場所の認知	18
2. 8月30日の17時以降から翌朝にかけて主にいた場所	07	6 (3) 指定避難場所への避難の安全性	19
3. 大雨に対する意識	08	6 (4) 芽室町の「浸水想定区域図」の認知	20
4. 災害に関する情報の認知	09	6 (5) 「避難」という言葉のイメージ	21
4 (1) 警報・勧告などの認知	09	6 (6) 災害時の情報のあり方について	22
4 (2) 警報・勧告などを認知した時間帯	10	6 (7) 今後の災害時の情報収集手段	23
4 (3) 災害情報の情報源	11	6 (8) エリアメール等の運用について	24
4 (4) 避難勧告・避難指示の認知と対応	12	6 (9) 大雨による被害への備え	25
5. 避難行動	13	6 (10) 防災を考える上で参加してみたい行事や活動	26
5 (1) 避難場所	13	6 (11) 台風10号災害や日ごろの防災に関する意見	27
5 (2) 避難日時・避難手段	14		
5 (3) 避難した理由	15	V. 調査票 (見本)	28

■ 本調査は、北海道芽室町、株式会社サーベイリサーチセンターによる共同調査研究です。

■ 引用、転載にあたっては、上記の共同調査研究であることを明記して使用してください。

I. 調査概要

1. 調査の目的

平成28年8月19日に発生した台風第10号は、8月30日夕刻から31日にかけて北海道を通過し、十勝総合振興局管内に大雨警報・洪水警報が発表された。北海道芽室町では8月30日の16時20分に災害対策本部を設置、23時30分以降順次、各対象地区に対して避難指示、避難勧告を発令するに至った。この大雨に対する住民の情報認知や避難行動の状況を把握するために、東京大学総合防災情報研究センターの定池祐季特任助教（北海道庁災害検証委員会委員、芽室町災害検証委員会委員）の監修の下、芽室町と株式会社サーベイリサーチセンターによる共同調査研究を実施した。

調査結果は、本町の防災施策検討に活用すると共に、広く防災研究や報道、広報・啓発などの活動で利用する。

2. 調査対象と調査方法

- 調査対象：芽室町内の避難対象地域及び対象地域外の計700世帯（世帯向け調査）
- 調査方法：郵送法：無作為抽出した700世帯に対して調査票を郵送配付し、同封した返信用封筒によって、記入済みの調査票を返送して頂く方法で実施した。

3. 回収状況

①標本数	②有効回収数	③有効回収率
700件	384件	54.9%

（内訳）

区 分	対象世帯数	有効回収世帯数	有効回収率
避難対象地域	585世帯	319世帯	54.5%
避難対象地域外	115世帯	47世帯	40.9%
（不 明）	—	18世帯	—
合 計	700世帯	384世帯	54.9%

4. 調査実施期間

調査票発送：平成29年1月18日（水）
回収終了：平成29年2月6日（月）

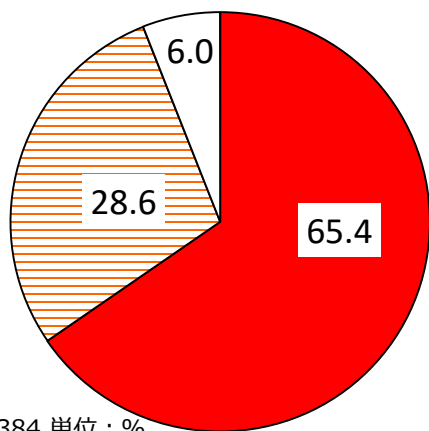
5. この報告書の見方

- （1）本文中の「N」や「調査数」は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- （2）回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においても、回答比率を合計した値が100.0%にならないことがある。
- （3）回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢式の質問においては、各設問の調査数を基数として回答構成比を算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える（グラフでは「M.A.」と表記）。
- （4）選択肢の語句を一部簡略化してあらわしていることがある。

Ⅱ. 回答者のプロフィール

- 本調査は、世帯調査で対象者個人の指定は行っていないため、世帯主またはそれに代わる方が回答を行っている場合が多いことから、回答者の年代は60代以上が6割以上となっている。
- 男女比では男性が65.4%、職業は回答者の年齢構成上、無職が31.8%、会社員が21.4%となっている。

性別



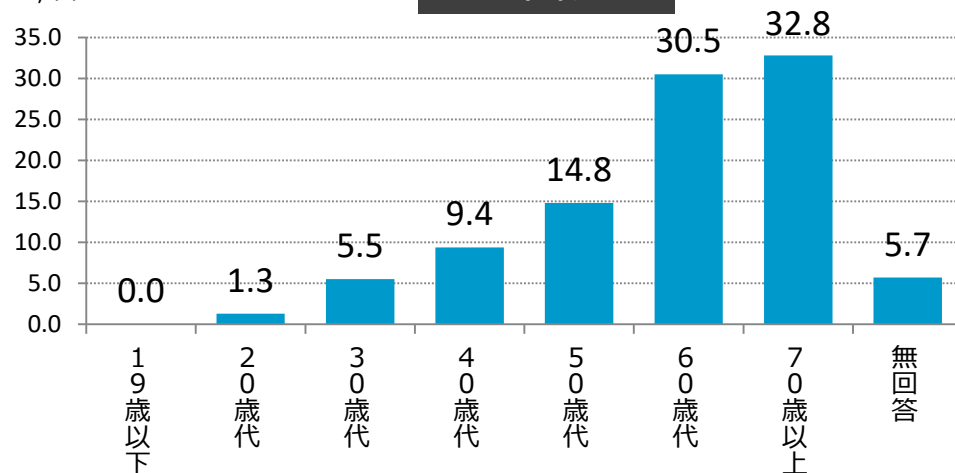
N=384,単位：%

■ 男性

■ 女性

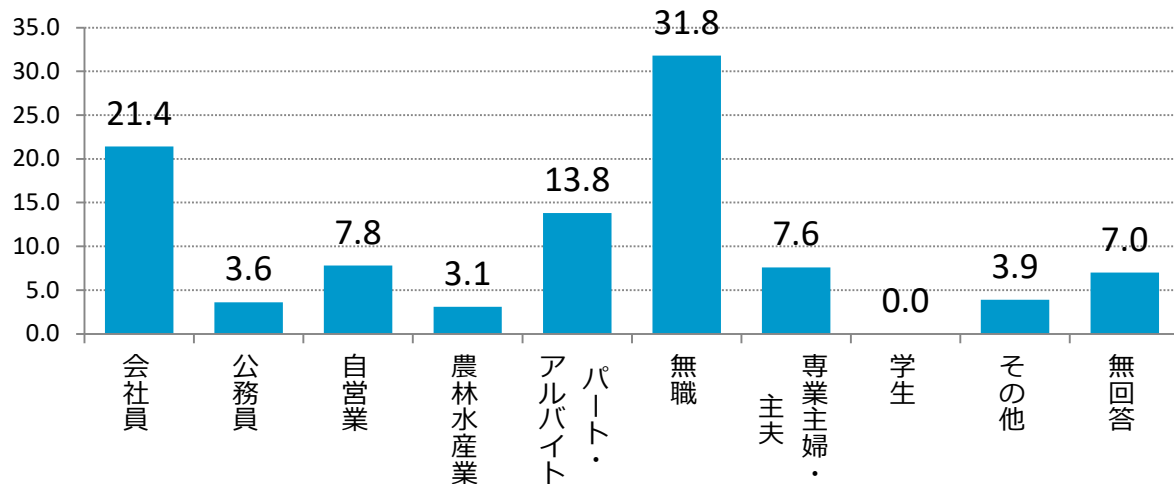
N=384,単位：%

年代



N=384,単位：%

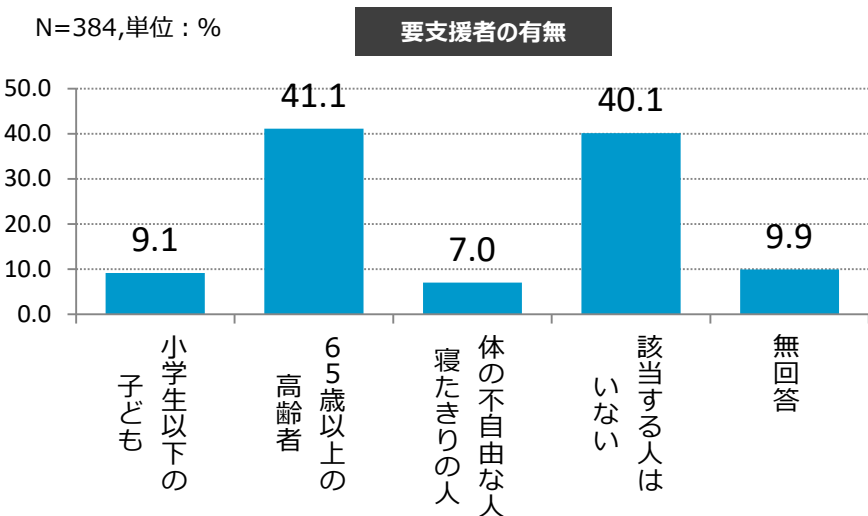
職業



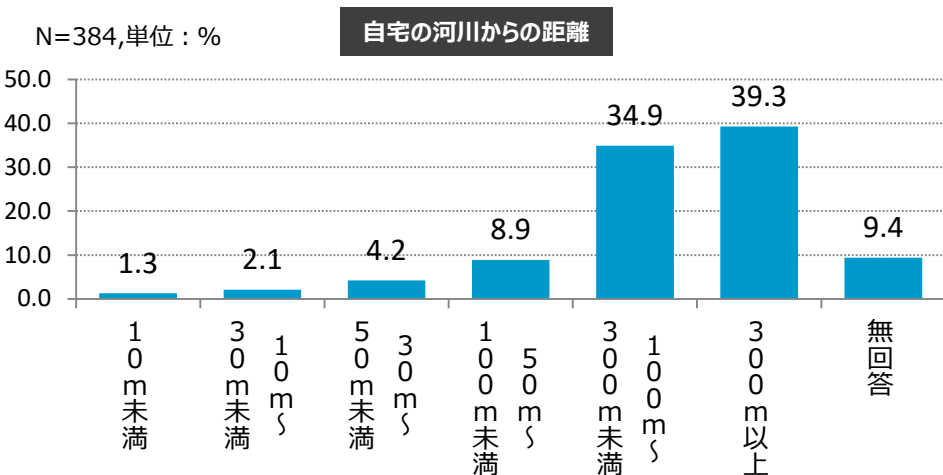
Ⅱ. 回答者のプロフィール

- 世帯における要支援者の有無では、高齢者41.1%を含む【要支援者あり】が57.2%、約4割は非該当であった。
- 自宅の河川からの距離では、100～300m未満、300m以上に二分されるが、100m未満も2割弱ある。
- 自宅は2階建て以上の戸建が7割近くで、構造では木造が約8割となっている。

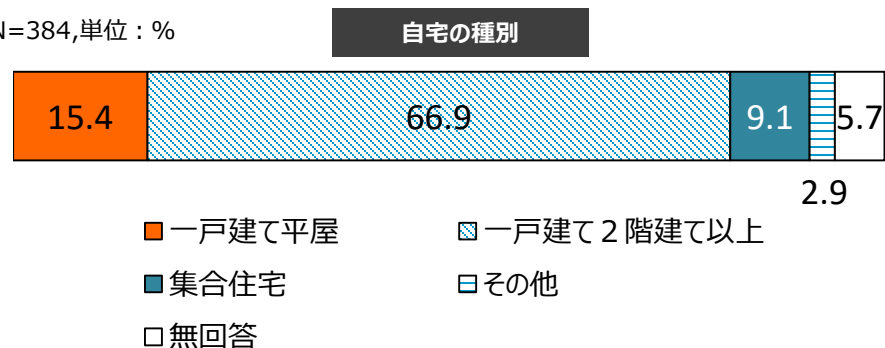
N=384,単位：％



N=384,単位：％



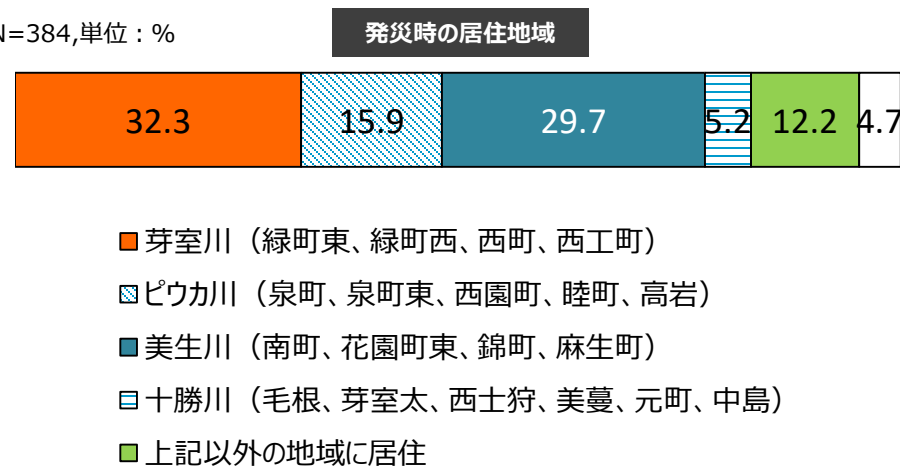
N=384,単位：％



N=384,単位：％



N=384,単位：％



Ⅲ．調査結果の総括

本調査結果のポイントは、以下のとおりである。

1. 被害概況

- 8月30日～31日に発生した大雨により何らかの被害を回答した割合は回答者のおよそ3分の1（33.9%）だった。
- 被害の内容は「物置や自動車などが被害を受けた」（11.5%）、「床上浸水をした」（10.2%）、「床下浸水をした」（9.9%）、「家財が被害を受けた」（9.6%）などとなっており、いずれの被害も、芽室川流域で高い回答比率となっている。

2. 大雨に対する意識

- 多少なりとも通常よりひどい豪雨だと認識していた人は全体の8割近くにのぼる。およそ4人に1人は経験したことがないほどの豪雨と認識。

3. 災害情報の入手と避難行動

- 避難勧告の認知度は37.2%、避難指示の認知度は42.2%である。
- 大雨、洪水とうの警報などは比較的長い時間をかけて認知につながっているのに対し、避難勧告・避難指示は発令時刻から短い時間帯の中で認知に結びついている。避難勧告や避難指示を見聞きして、災害への危険を意識した人は8割以上。
- 災害情報の情報源は、「テレビ」（54.5%）、「町の広報車による呼びかけ」（51.7%）が特に多かった。
- 自宅から離れて避難行動をとった人は48.2%。避難の時間帯は、30日22時台から増えはじめ、31日1時台がピーク。
- 避難手段は、車が85.9%を占めた。
- 避難しなかった理由のトップは「自宅にいても安全だと思った」（54.4%）で、以下「避難勧告・指示が出ていなかったから」、「避難勧告・指示が出ているとわからなかったから」、「エリアメール・緊急通報メールが届かなかったから」などが挙げられている。
- 町の情報発信は、「不十分な内容だった」（35.7%）が最も多く、やや不十分を含めると約6割がネガティブ評価となっている。その主な理由は、広報車による呼びかけでは不十分と考えている人が多く、エリアメールや緊急速報メールが活用されなかったこと、避難勧告・避難指示の発令時刻が遅かったことなどが挙げられている。

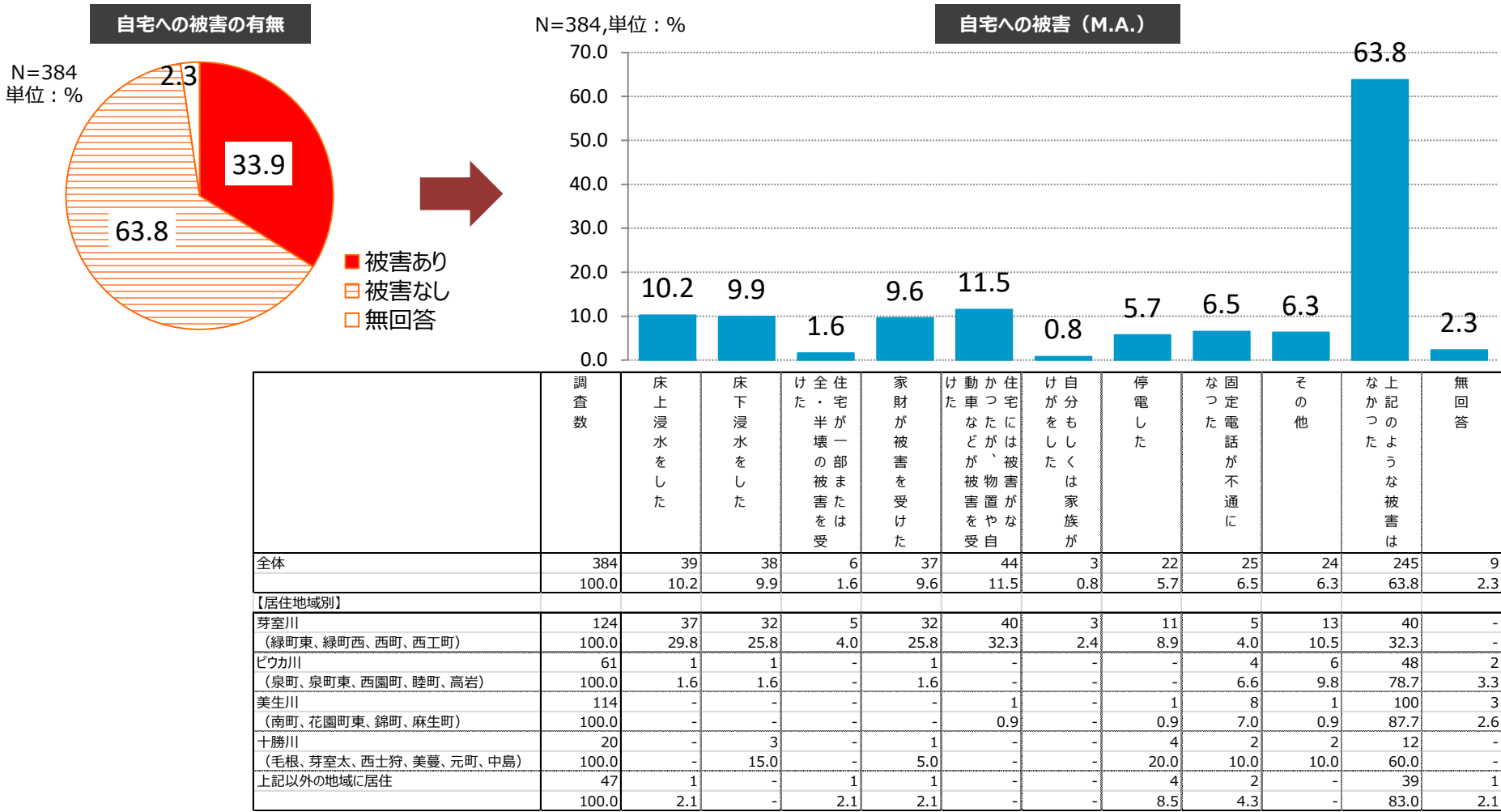
4. 日頃の防災意識・備え

- 最寄りの指定避難場所の認知度は79.9%。指定避難場所への避難の安全性は、非積雪期で72.3%。積雪期では48.9%。
- 洪水ハザードマップの認知度は「見たことはある」という程度の回答も含めて45.0%。見たことがない（51.3%）が過半数となった。
- 可能性がある以上は空振りを恐れず、避難勧告・避難指示を出すべきとの考え方を約8割が支持しており、エリアメール・緊急速報メールについても、特定地域の情報であっても町内全てに配信してほしい（してよい）との回答が約8割となっている。
- 大雨による被害に対する日ごろの備えについては、特に行っていない人が35.4%。行われている備えのトップは「非常持ち出し袋の用意」（31.0%）、以下「食料・飲料などの備蓄」（22.7%）、「避難場所や連絡手段などを決めたり話し合っている」（19.8%）などとなっている。

IV. 調査結果の分析

1. 大雨による自宅への被害

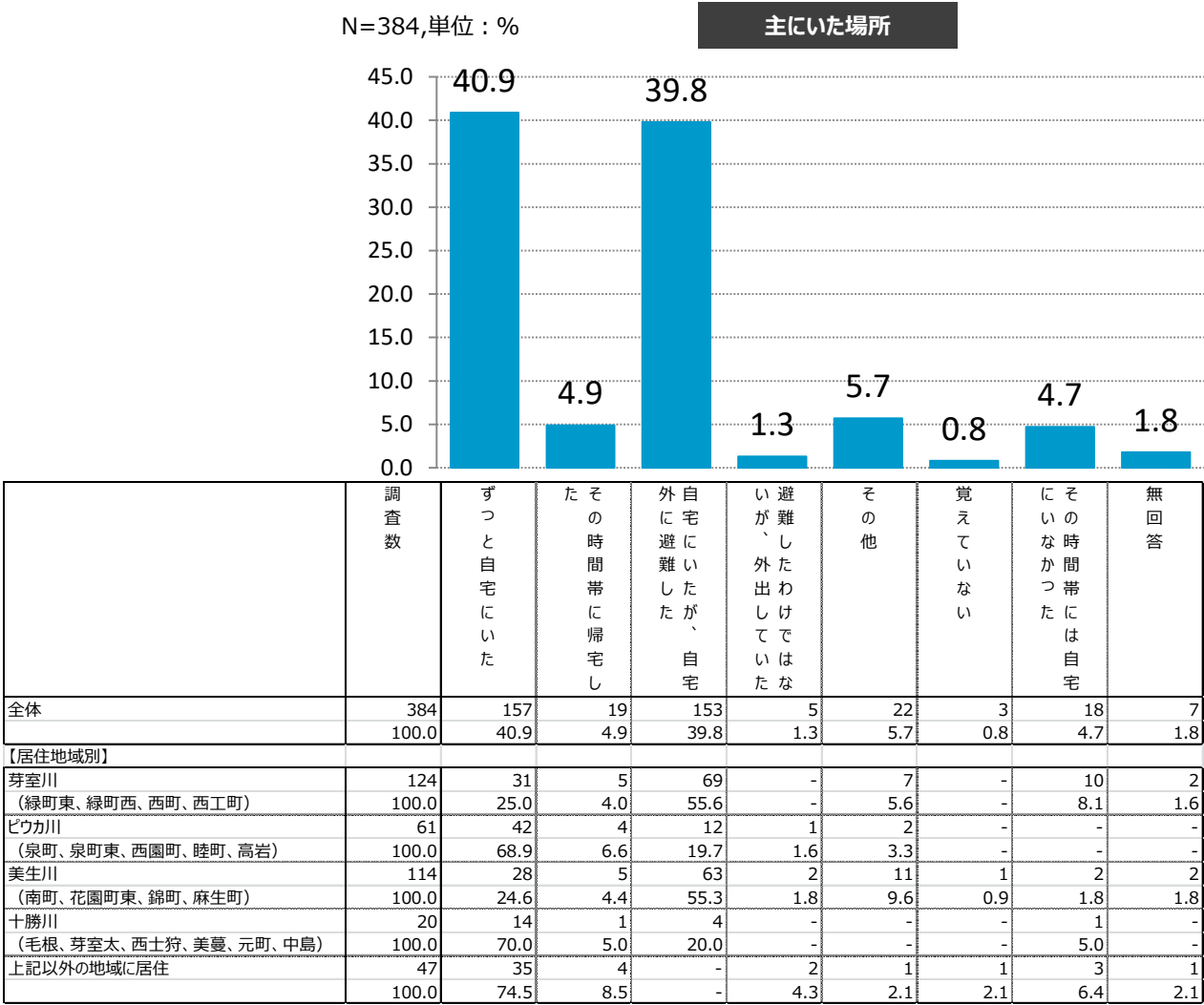
- 8月30日～31日に発生した大雨により何らかの被害を回答した割合は33.9%で、被害の内容は「物置や自動車などが被害を受けた」（11.5%）、「床上浸水をした」（10.2%）、「床下浸水をした」（9.9%）、「家財が被害を受けた」（9.6%）などとなっている。
- いずれの被害も、芽室川流域で高い回答比率となっている。



IV. 調査結果の分析

2. 8月30日の17時頃から翌朝にかけて主にいた場所

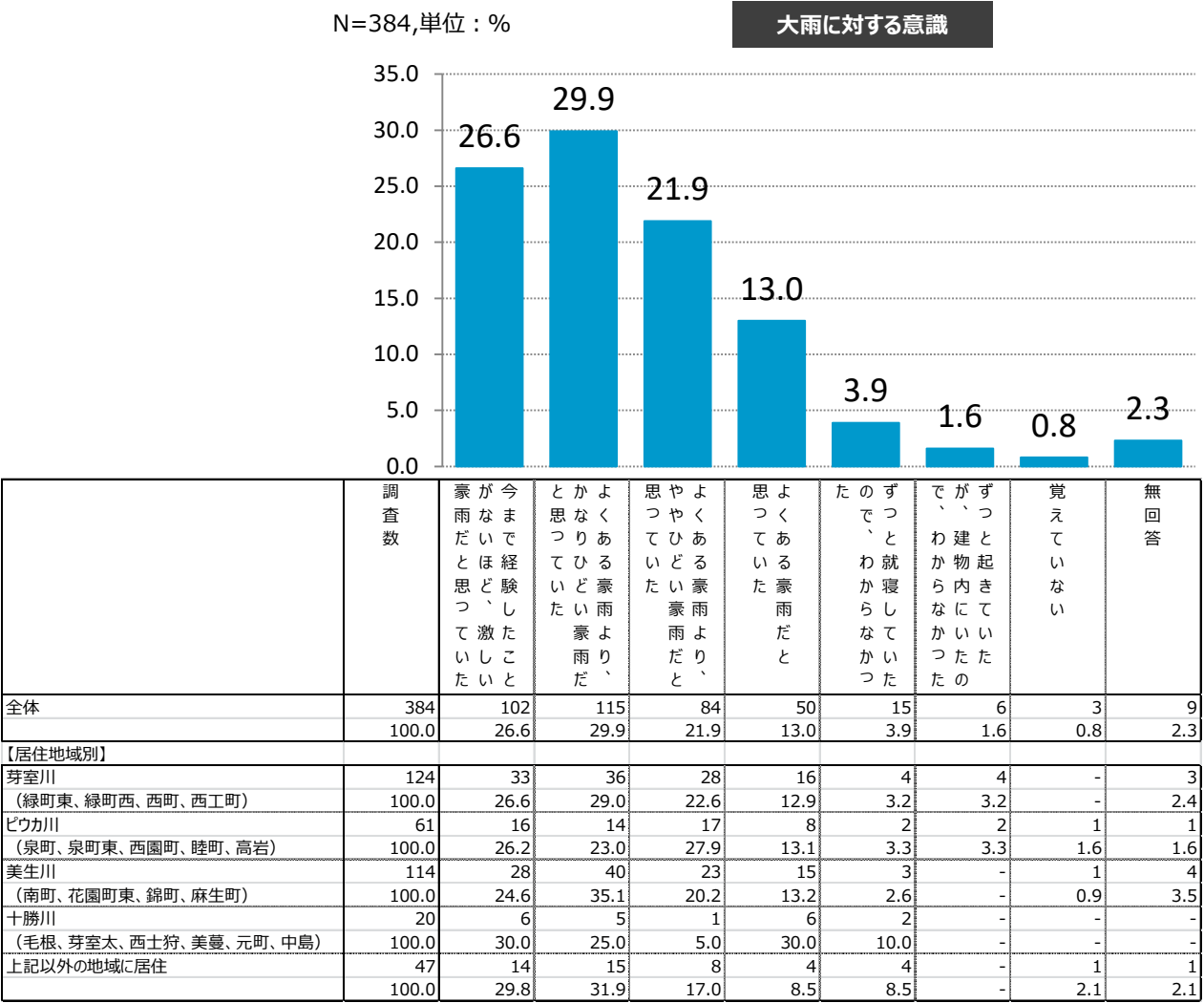
■ 8月30日17時頃から翌朝にいた場所は、「自宅」が40.9%、「自宅にいたが、自宅外に避難した」が39.8%であった。



IV. 調査結果の分析

3. 大雨に対する意識

■ この大雨について、「よくある豪雨より、かなりひどい豪雨だと思っていた」との回答が29.9%と最も多く、多少なりとも通常より激しいものと認識していた人は全体の8割近くとなっている。

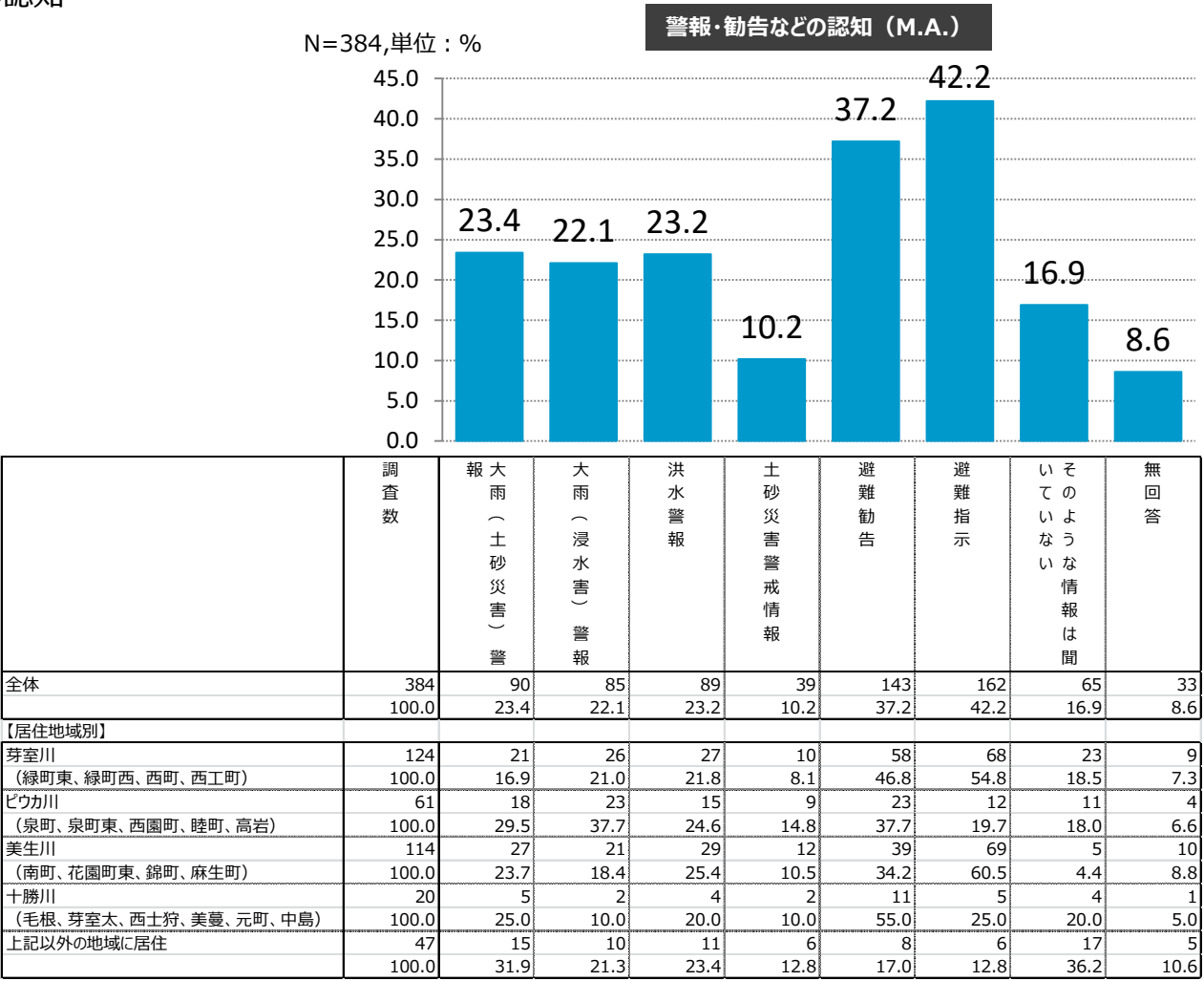


IV. 調査結果の分析

4. 災害に関する情報の認知

■「避難指示」が42.2%、次いで「避難勧告」が37.2%の認知度である。大雨、洪水の各種警報は2割台の認知度、土砂災害警戒警報については約1割の認知に留まった。また、これらの情報をまったく認知していない人が16.9%となっている。

(1) 警報・勧告などの認知

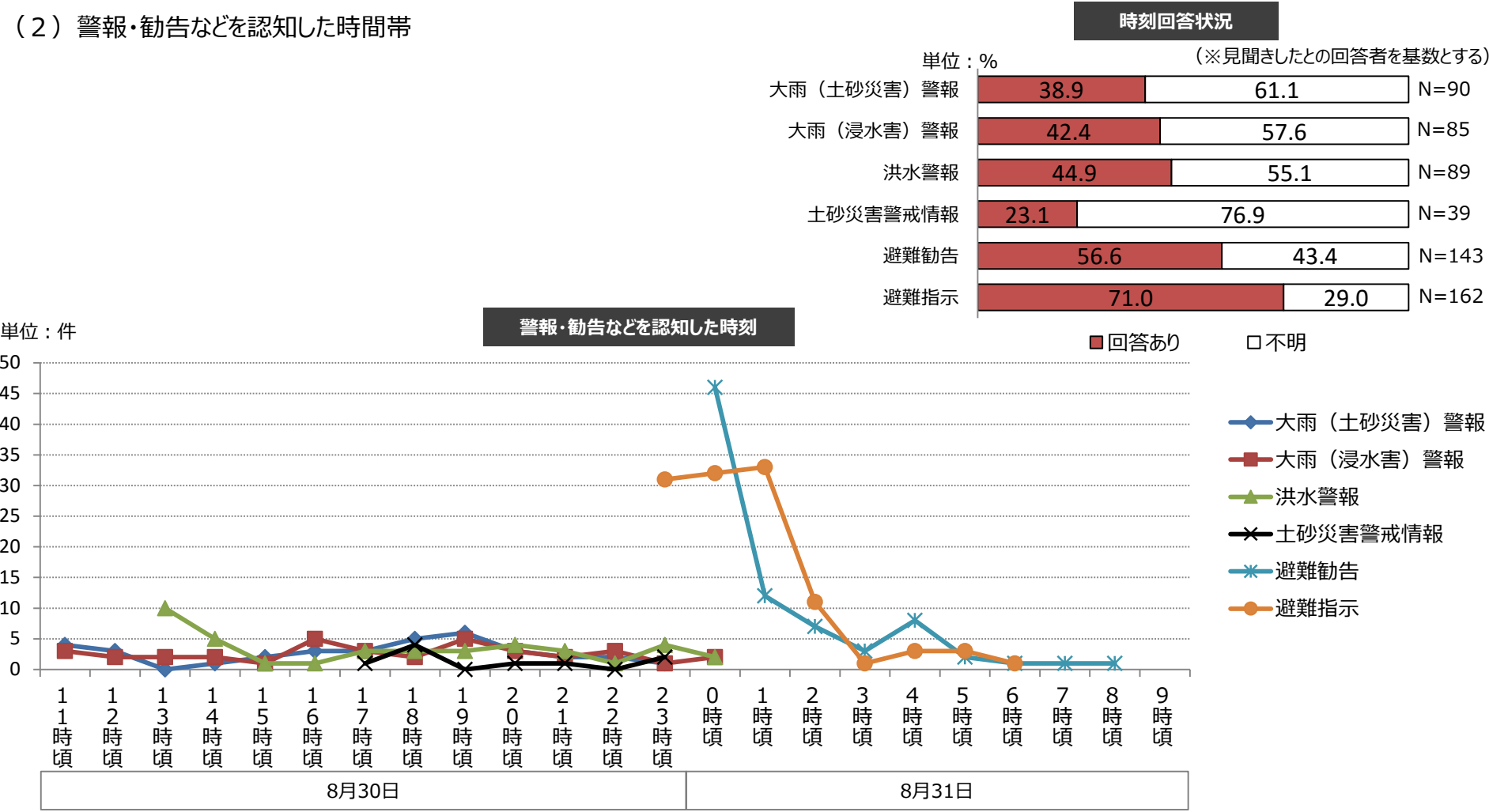


IV. 調査結果の分析

4. 災害に関する情報の認知

■ 各種情報を見聞きしたと回答した人のうち、最初に見聞きした時刻を覚えている場合に回答してもらった時間帯を整理すると下図のようになる。
■ 大雨、洪水等の警報などは比較的長い時間をかけて認知につながっているのに対して、避難勧告・避難指示は発令時間から短い時間帯の中で伝達されていることがわかる。

(2) 警報・勧告などを認知した時間帯

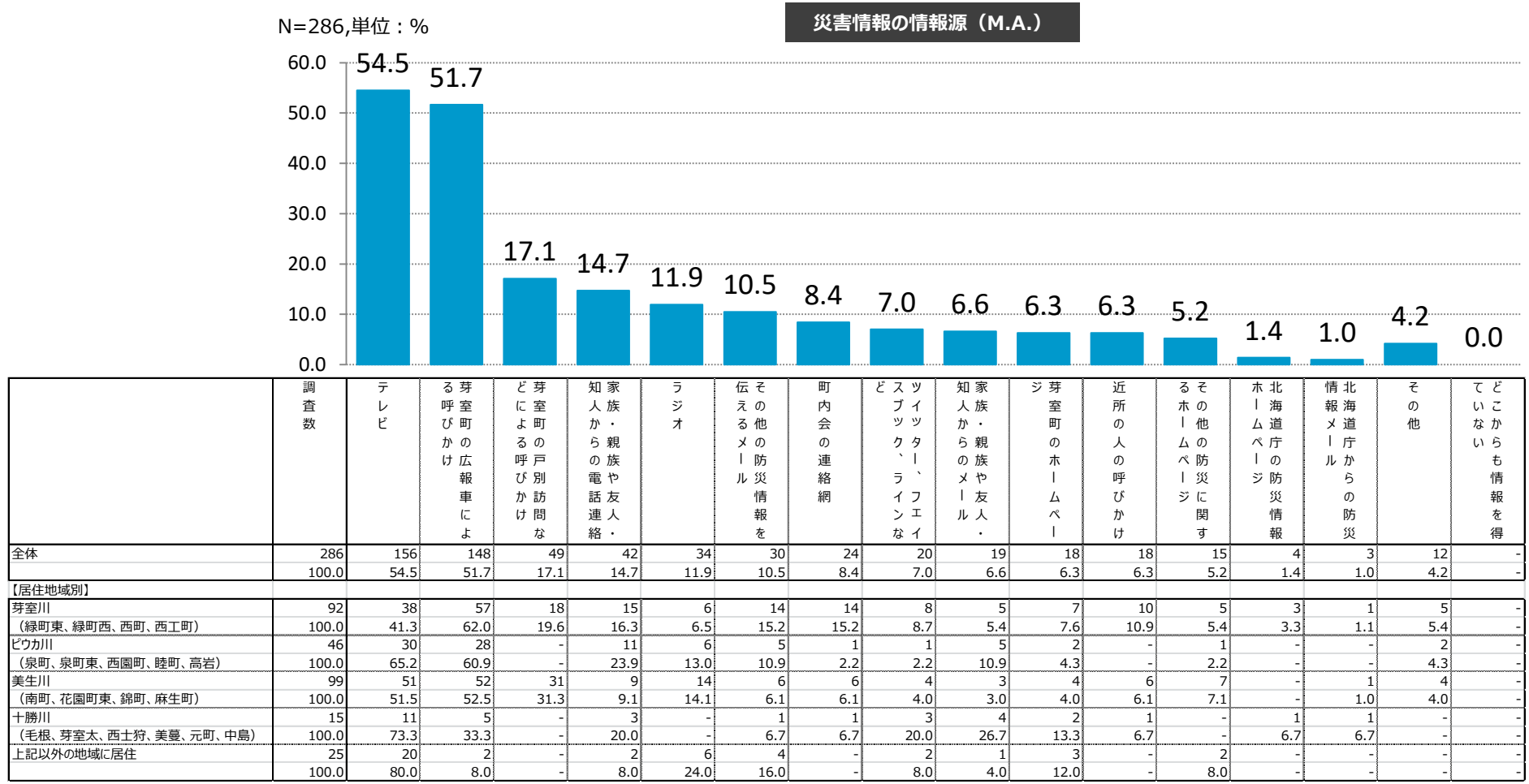


IV. 調査結果の分析

4. 災害に関する情報の認知

■ 災害情報の情報源では、「テレビ」(54.5%)、「町の広報車による呼びかけ」(51.7%) が特に多い。回答者に高齢層が多いことから、日ごろの情報源としての特性からインターネット等の利用が低い点は考慮する必要がある(同居の若年家族などが、SNSを活用して情報を得ているケースなどはこの回答に反映されない)。

(3) 災害情報の情報源

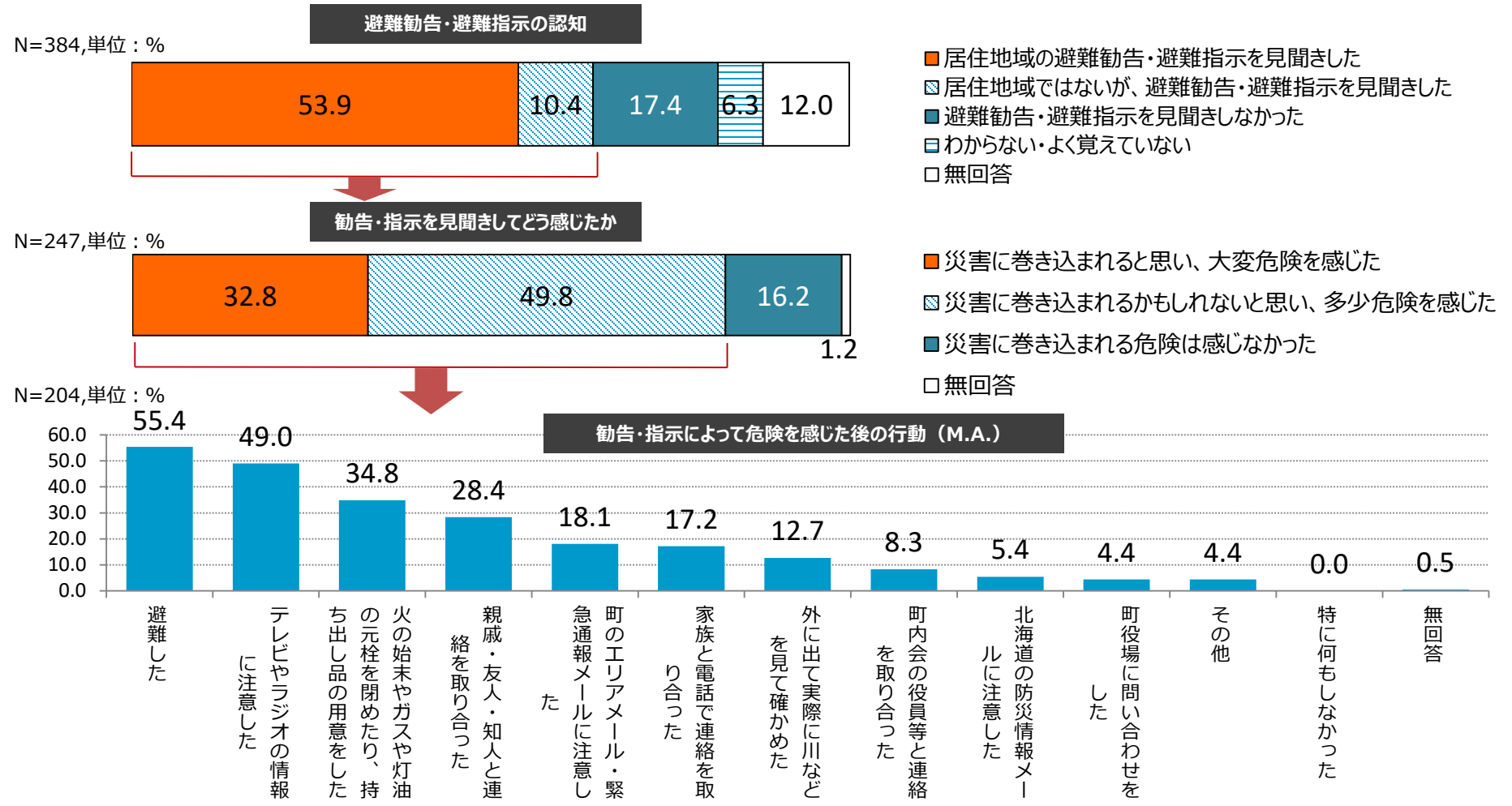


IV. 調査結果の分析

4. 災害に関する情報の認知

- 居住地区の勧告指示の認知は53.9%、居住地区外の情報を見聞きした人も10.4%あり、合わせて6割以上が認知している。
- 認知後は「多少危険を感じた」(49.8%) が半数近く、「大変危険を感じた」(32.8%) を含め8割以上が危険を意識した。
- 危険を察した後の行動では、「避難した」、「テレビやラジオの情報に注意した」がそれぞれ半数前後と多かった。

(4) 避難勧告・避難指示の認知と対応

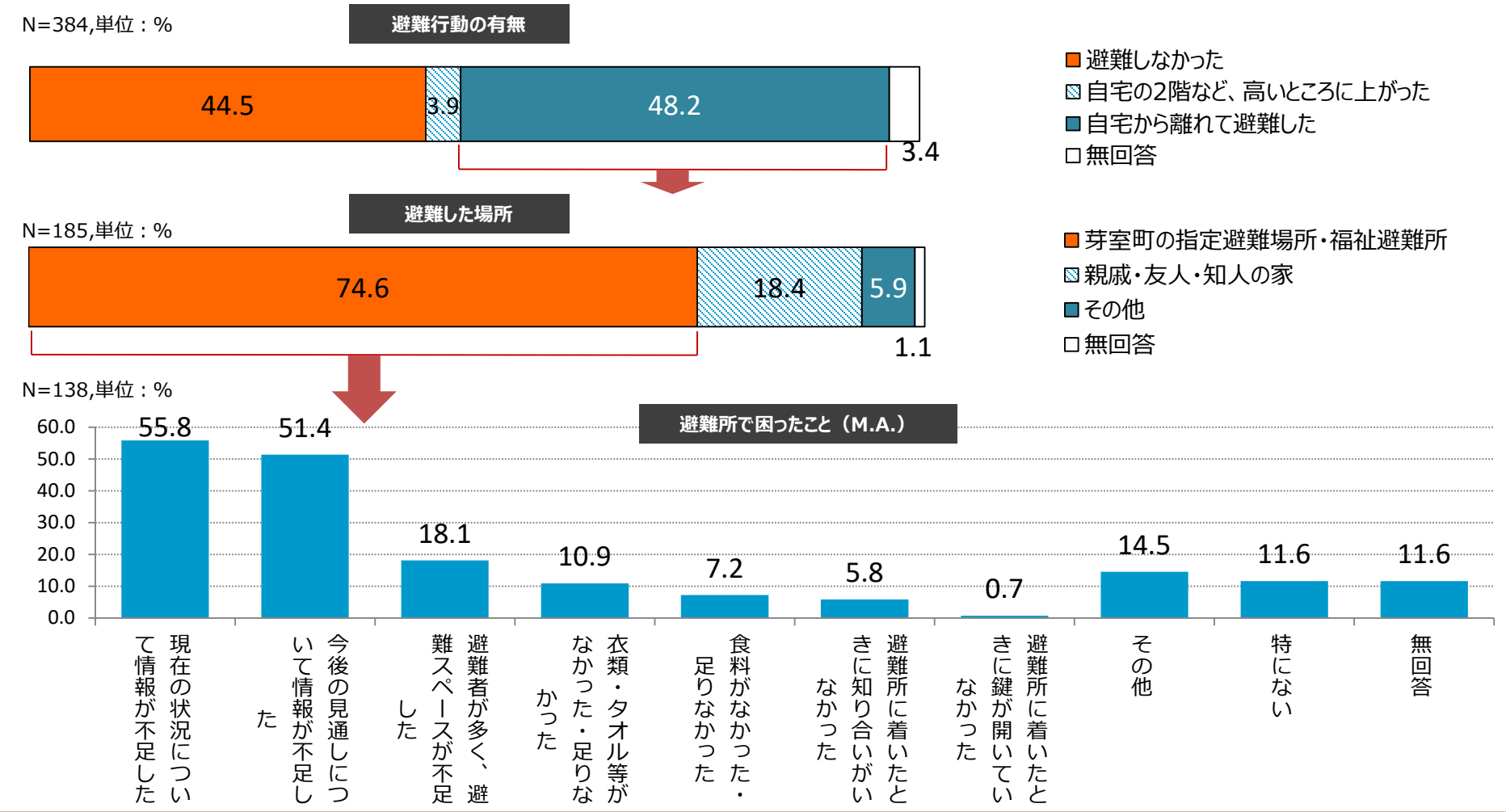


IV. 調査結果の分析

5. 避難行動

- 自宅から離れて避難した人の避難場所では、「町の指定避難場所・福祉避難所」が74.6%と最も多かった。
- 避難所での困りごとは、「現状の情報不足」(55.8%)、「今後の見通しの情報が不足」(51.4%)となっている。

(1) 避難場所

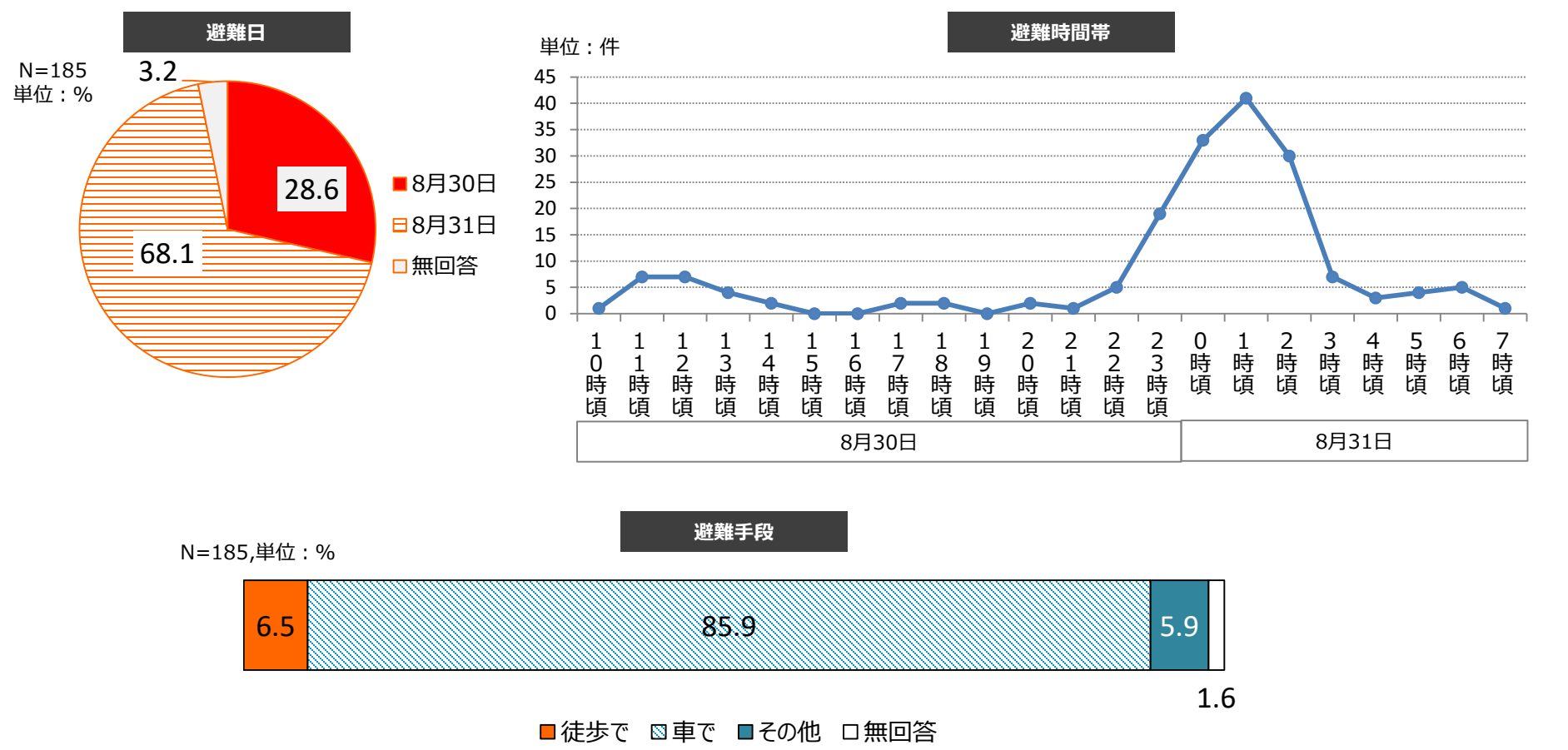


IV. 調査結果の分析

5. 避難行動

■ 避難行動を行った日時では、8月31日になってからが68.1%。時間帯では30日の22時以降に伸び始め31日1時台がピークとなっている。
■ 避難手段では、「車」が85.9%と多い。

(2) 避難日時・避難手段

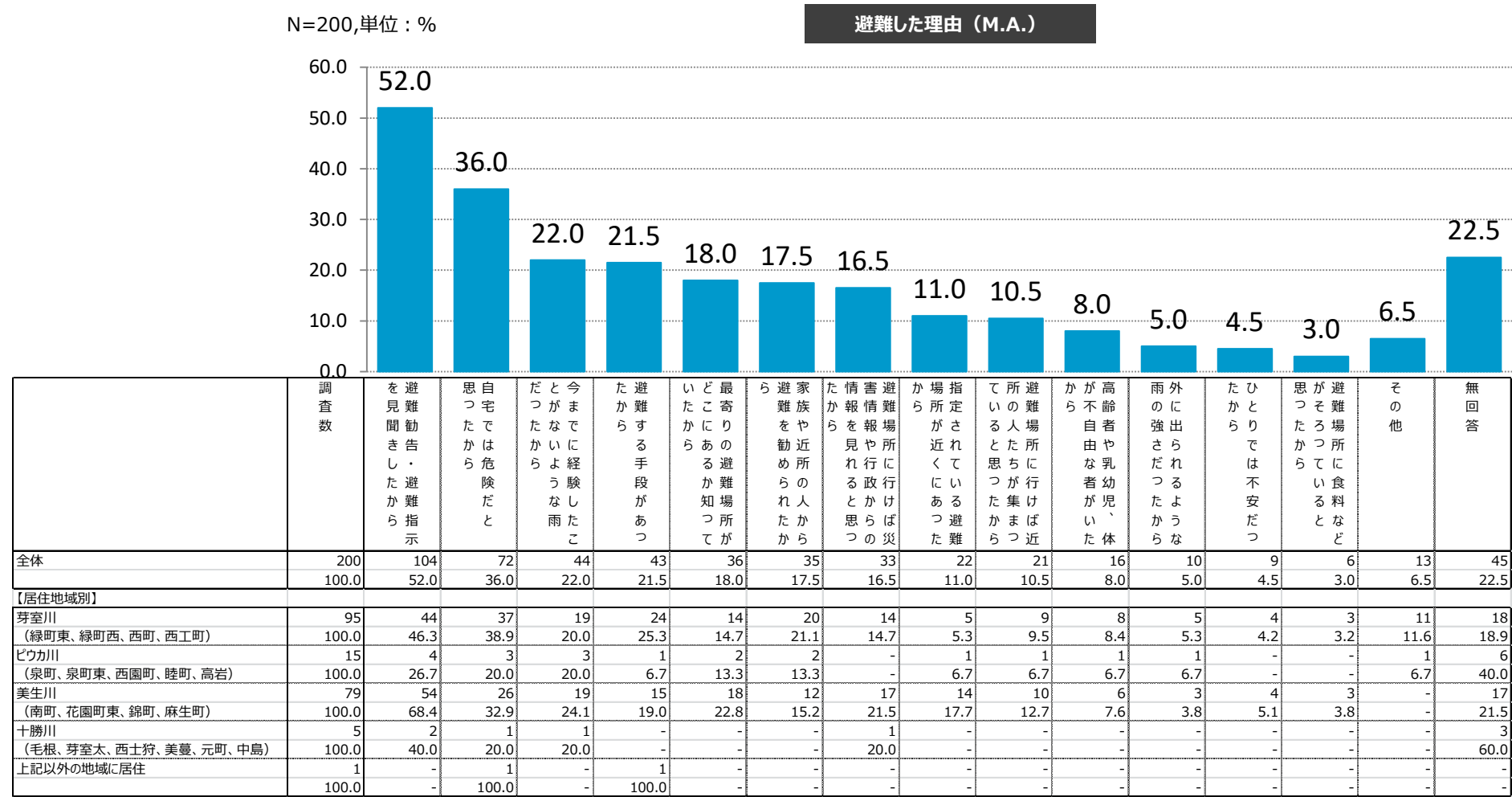


IV. 調査結果の分析

5. 避難行動

■ 避難をした理由では、「避難勧告・避難指示を見聞きしたから」が52.0%と最も多く、以下「自宅では危険だと思ったから」（36.0%）、「今までに経験したことがないような雨だったから」（22.0%）、「避難する手段があったから」（21.5%）などとなっている。

（3）避難した理由

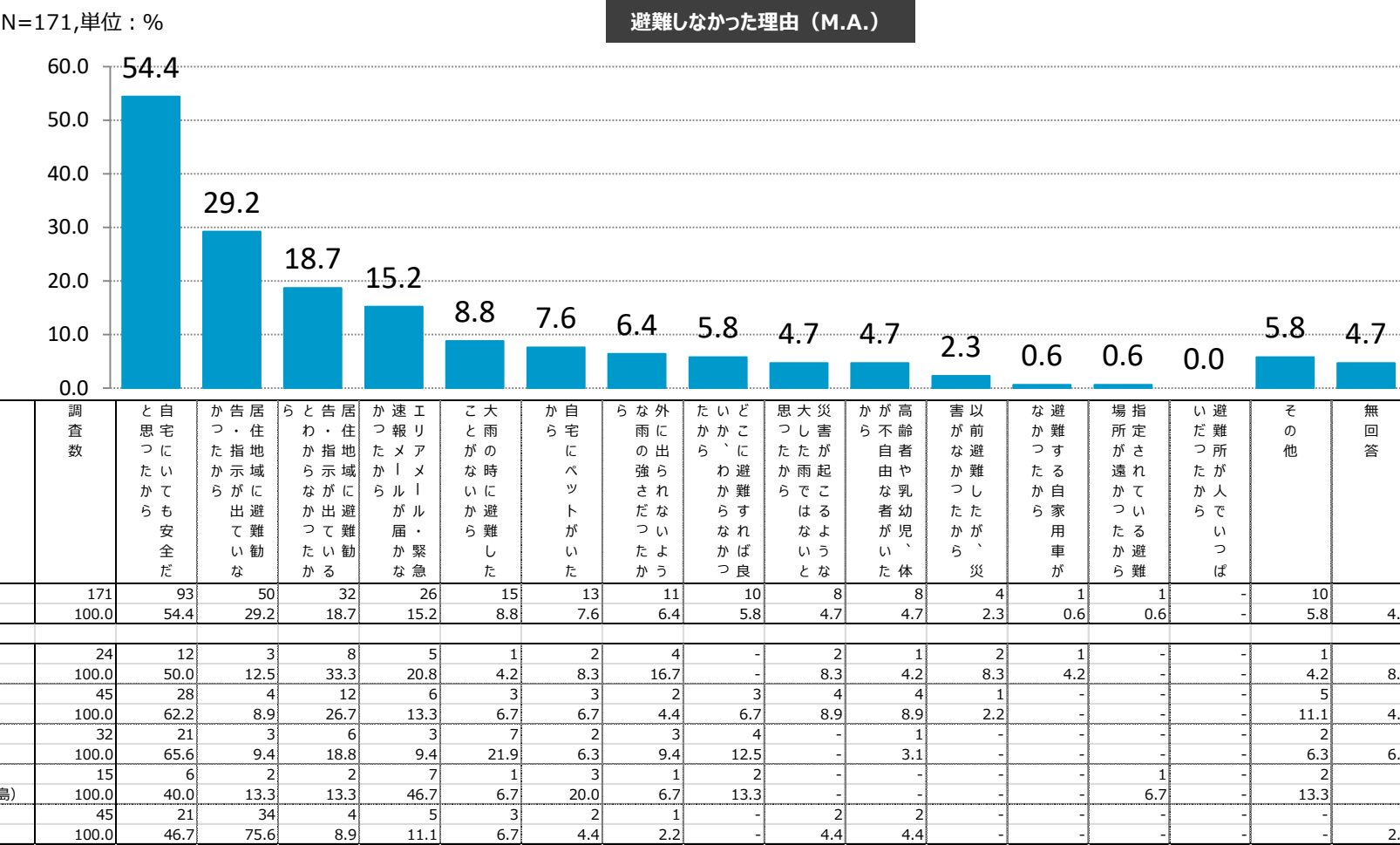


IV. 調査結果の分析

5. 避難行動

■ 避難をしなかった理由では、「自宅にいても安全だと思ったから」が54.4%で最も多かった。以下、「居住地域に勧告・指示が出ていなかったから」（29.2%）、「居住地域に勧告・指示が出ているとわからなかったから」（18.7%）などとなっている。

（４）避難しなかった理由

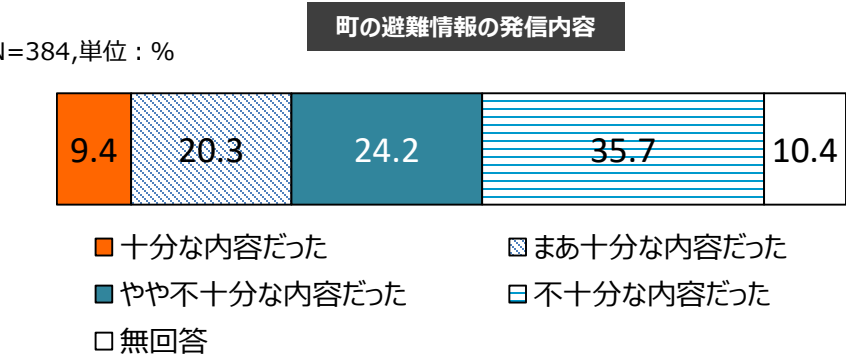


IV. 調査結果の分析

5. 避難行動

- 町の情報発信への評価では、不十分な内容との評価が35.7%と最も多く、やや不十分を含めるとネガティブな評価が約6割となっている。
- 今後に向けて、町からの情報発信に関する意見を求めた。主な意見を要約すると、以下のような内容であった。

(5) 町の情報発信について



	調査数	十分な内容	まあ十分な内容	やや不十分な内容	不十分な内容	無回答
全体	384	36	78	93	137	40
	100.0	9.4	20.3	24.2	35.7	10.4
【居住地域別】						
芽室川	124	13	13	22	68	8
(緑町東、緑町西、西町、西工町)	100.0	10.5	10.5	17.7	54.8	6.5
ビウカ川	61	8	13	20	15	5
(泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩)	100.0	13.1	21.3	32.8	24.6	8.2
美生川	114	12	36	28	29	9
(南町、花園町東、錦町、麻生町)	100.0	10.5	31.6	24.6	25.4	7.9
十勝川	20	1	-	6	10	3
(毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島)	100.0	5.0	-	30.0	50.0	15.0
上記以外の地域に居住	47	2	12	11	13	9
	100.0	4.3	25.5	23.4	27.7	19.1

町の情報発信に関する主な意見

意見欄に寄せられた内容について、論旨によって以下にまとめた。

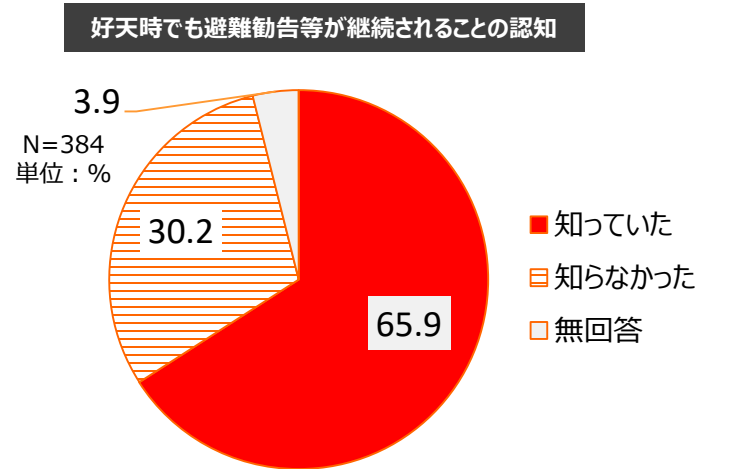
- 1. 広報車からの呼びかけについて**
意見の中で最も多かったのは、広報車からの情報が聴き取りにくいというものだった。原因としては、広報車のスピード、家屋の気密性や雨音、テレビの音声などによる妨げ、高齢のため耳が遠くなっていることなどが挙げられている。
- 2. 個別通信手段の必要性について**
上記1の広報の聴き取りにくさもあり、各戸への個別受信型の通信手段が必要との指摘が多い(電話、FAX、メールといった手段の表現を含めた個別型ニーズ)。
- 3. エリアメール・緊急速報メールについて**
他町のエリアメール等を受信する中で、自町の情報メールが受信されたため、安心して良いのか、危険が迫っているのか、判断に迷った旨の意見が目立った。
町からの発信情報の内容も不十分と受け止められており、河川の水位や危険度などの現状を具体的に伝えることや、どのようにすべきかを発信してほしいとの要望もあり、災害の危険を具体的に、速やかに伝えるためにも、メール等の発信は積極的に、速やかにしてほしいという意向が示されている。
- 4. 避難勧告・避難指示発令のタイミングについて**
避難勧告・指示については判断に迷う場合でも夕刻までには発してほしい(今回は遅かった)との意見もあった。深夜では情報がキャッチできない場合、キャッチしても行動しにくい場合があることや、要支援者がいる場合は、特に避難に時間がかかる旨などが述べられていた。

IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

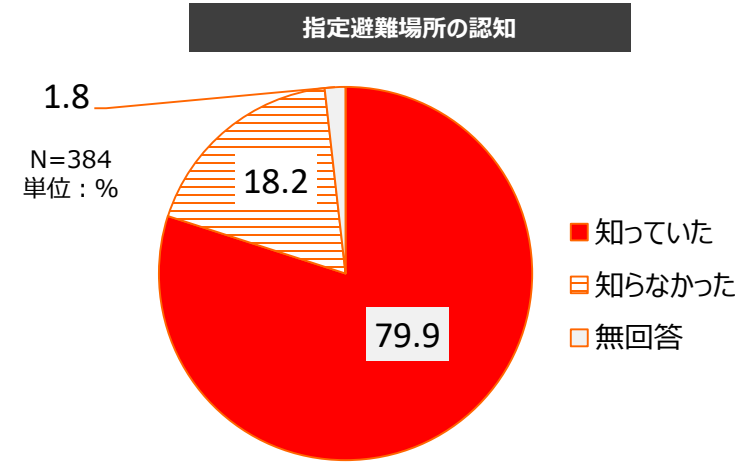
- 『避難勧告等は天気が良くても継続されることがある』ことの認知度は65.9%で、約3割は「知らなかった」と回答している。
- 最寄りの指定避難場所の認知度は、79.9%で、2割近くが「知らなかった」と回答している。

(1) 好天時でも避難勧告等が継続されることが認知



	調査数	知っていた	知らなかった	無回答
全体	384	253	116	15
	100.0	65.9	30.2	3.9
【居住地域別】				
芽室川 (緑町東、緑町西、西町、西工町)	124	81	40	3
	100.0	65.3	32.3	2.4
ピウカ川 (泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩)	61	40	19	2
	100.0	65.6	31.1	3.3
美生川 (南町、花園町東、錦町、麻生町)	114	86	25	3
	100.0	75.4	21.9	2.6
十勝川 (毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島)	20	9	9	2
	100.0	45.0	45.0	10.0
上記以外の地域に居住	47	27	19	1
	100.0	57.4	40.4	2.1

(2) 指定避難場所の認知



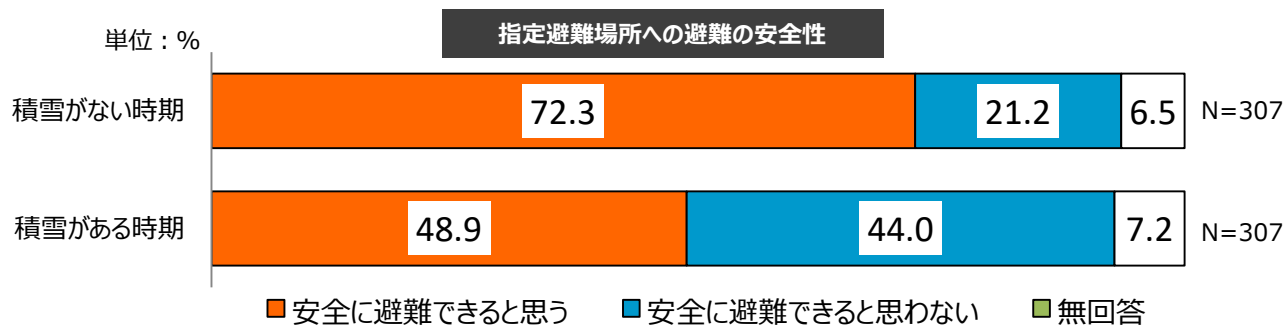
	調査数	知っていた	知らなかった	無回答
全体	384	307	70	7
	100.0	79.9	18.2	1.8
【居住地域別】				
芽室川 (緑町東、緑町西、西町、西工町)	124	110	12	2
	100.0	88.7	9.7	1.6
ピウカ川 (泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩)	61	46	15	-
	100.0	75.4	24.6	-
美生川 (南町、花園町東、錦町、麻生町)	114	96	17	1
	100.0	84.2	14.9	0.9
十勝川 (毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島)	20	10	9	1
	100.0	50.0	45.0	5.0
上記以外の地域に居住	47	33	13	1
	100.0	70.2	27.7	2.1

IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

■ 最寄りの指定避難場所を知っていた人に、避難場所までの移動の安全性をたずねたところ、『積雪がない時期』では72.3%が「安全に避難できると思う」と回答しているが、『積雪がある時期』では48.9%と、約23ポイント低下している。

(3) 指定避難場所への避難の安全性



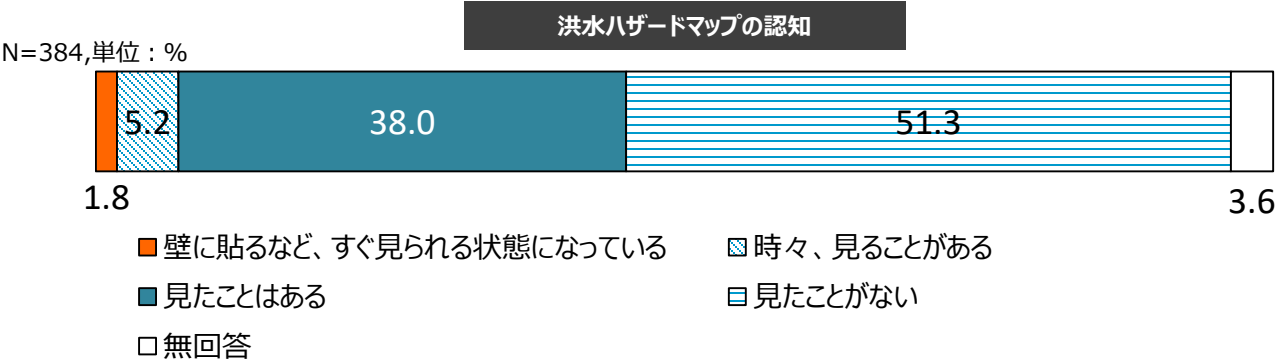
	調査数	積雪がない時期			積雪がある時期		
		安全に避難できると思う (%)	安全に避難できると思わない (%)	無回答 (%)	安全に避難できると思う (%)	安全に避難できると思わない (%)	無回答 (%)
全体	307	222	65	20	150	135	22
	100.0	72.3	21.2	6.5	48.9	44.0	7.2
【居住地域別】							
芽室川	110	66	36	8	43	59	8
(緑町東、緑町西、西町、西工町)	100.0	60.0	32.7	7.3	39.1	53.6	7.3
ピウカ川	46	38	5	3	23	19	4
(泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩)	100.0	82.6	10.9	6.5	50.0	41.3	8.7
美生川	96	77	15	4	55	36	5
(南町、花園町東、錦町、麻生町)	100.0	80.2	15.6	4.2	57.3	37.5	5.2
十勝川	10	6	3	1	3	5	2
(毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島)	100.0	60.0	30.0	10.0	30.0	50.0	20.0
上記以外の地域に居住	33	26	4	3	19	12	2
	100.0	78.8	12.1	9.1	57.6	36.4	6.1

IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

■ 芽室町の「浸水想定区域図（洪水ハザードマップ）」は「見たことがない」との回答が51.3%と最も多い。
■ 「見たことはある」（38.0%）を含めて、認知度は45.0%であった。

（４）芽室町の「浸水想定区域図（洪水ハザードマップ）」の認知



	調査数	態す壁にぐに見つている状	が時々、見ることがある	見たことはある	見たことがない	無回答
全体	384	7	20	146	197	14
	100.0	1.8	5.2	38.0	51.3	3.6
【居住地域別】						
芽室川	124	4	8	51	55	6
（緑町東、緑町西、西町、西工町）	100.0	3.2	6.5	41.1	44.4	4.8
ピウカ川	61	1	2	19	37	2
（泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩）	100.0	1.6	3.3	31.1	60.7	3.3
美生川	114	1	5	51	55	2
（南町、花園町東、錦町、麻生町）	100.0	0.9	4.4	44.7	48.2	1.8
十勝川	20	-	1	8	11	-
（毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島）	100.0	-	5.0	40.0	55.0	-
上記以外の地域に居住	47	1	3	11	31	1
	100.0	2.1	6.4	23.4	66.0	2.1

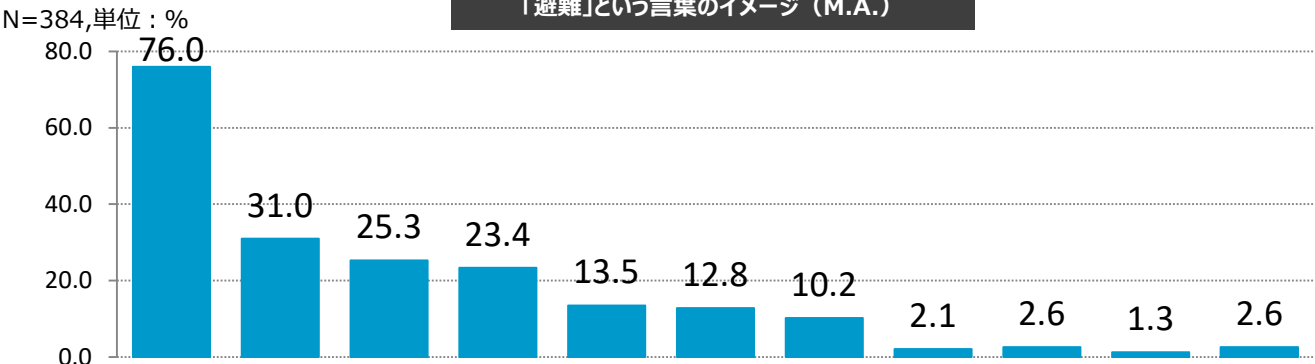
IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

■「避難」という言葉に対するイメージについてたずねたところ、「災害が発生する前に、安全な場所に移動をする」との回答が76.0%と最も多かった。以下、「今いる場所から他の場所に移動する」（31.0%）など移動先のイメージに対する回答があり、「必ずしもその時にいる場所から移動する必要はない」との回答は10.2%という結果がみられた。

(5) 「避難」という言葉のイメージ

「避難」という言葉のイメージ（M.A.）



	調査数	災害が発生する前に、安全な場所に移動する	今いる場所から他の場所に移動する	丈夫な建物の中に移動する	災害発生後に、安全な場所に移動をする	建物の高層階に移動する	屋外に移動する	必ずしもその時にいる場所から移動する必要がある	建物の中で斜面と反対側に移動する	その他	わからない	無回答
全体	384	292	119	97	90	52	49	39	8	10	5	10
	100.0	76.0	31.0	25.3	23.4	13.5	12.8	10.2	2.1	2.6	1.3	2.6
【居住地域別】												
芽室川	124	93	40	33	34	15	17	16	1	4	-	4
（緑町東、緑町西、西町、西工町）	100.0	75.0	32.3	26.6	27.4	12.1	13.7	12.9	0.8	3.2	-	3.2
ピウカ川	61	43	20	19	15	10	10	7	1	-	3	1
（泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩）	100.0	70.5	32.8	31.1	24.6	16.4	16.4	11.5	1.6	-	4.9	1.6
美生川	114	95	37	30	19	14	15	11	5	3	1	3
（南町、花園町東、錦町、麻生町）	100.0	83.3	32.5	26.3	16.7	12.3	13.2	9.6	4.4	2.6	0.9	2.6
十勝川	20	17	5	2	5	3	2	2	1	1	1	-
（毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島）	100.0	85.0	25.0	10.0	25.0	15.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	-
上記以外の地域に居住	47	34	11	9	11	7	3	3	-	2	-	-
	100.0	72.3	23.4	19.1	23.4	14.9	6.4	6.4	-	4.3	-	-

IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

- 災害時の情報について、詳細さと簡潔さのバランスをたずねたところ、「細かく詳細な情報」と「単純で簡潔な情報」のニーズはだまかには二分されており、やや詳細さへのニーズが高い結果となっている。
- 避難勧告・避難指示のいわゆる空振りについては、それを恐れず、可能性がある以上は発令すべきとの考えが78.9%と高かった。

(6) 災害時の情報のあり方について



- もっと細かく詳細な情報がほしい
- もっと単純で簡潔な情報がほしい
- 無回答



- 可能性のある以上は空振りを恐れず、避難勧告・避難指示を出すべきだ
- 災害の危険が迫っていると判断された時に限って避難勧告・避難指示を出すべきだ
- 無回答

	調査数	情報 がと ほ細 しく 詳細 な	情報 がと ほ単 純で 簡潔 な	無 回 答
全体	384	201	161	22
	100.0	52.3	41.9	5.7
【居住地域別】				
芽室川	124	76	42	6
(緑町東、緑町西、西町、西工町)	100.0	61.3	33.9	4.8
ピウカ川	61	30	29	2
(泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩)	100.0	49.2	47.5	3.3
美生川	114	56	51	7
(南町、花園町東、錦町、麻生町)	100.0	49.1	44.7	6.1
十勝川	20	8	10	2
(毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島)	100.0	40.0	50.0	10.0
上記以外の地域に居住	47	26	19	2
	100.0	55.3	40.4	4.3

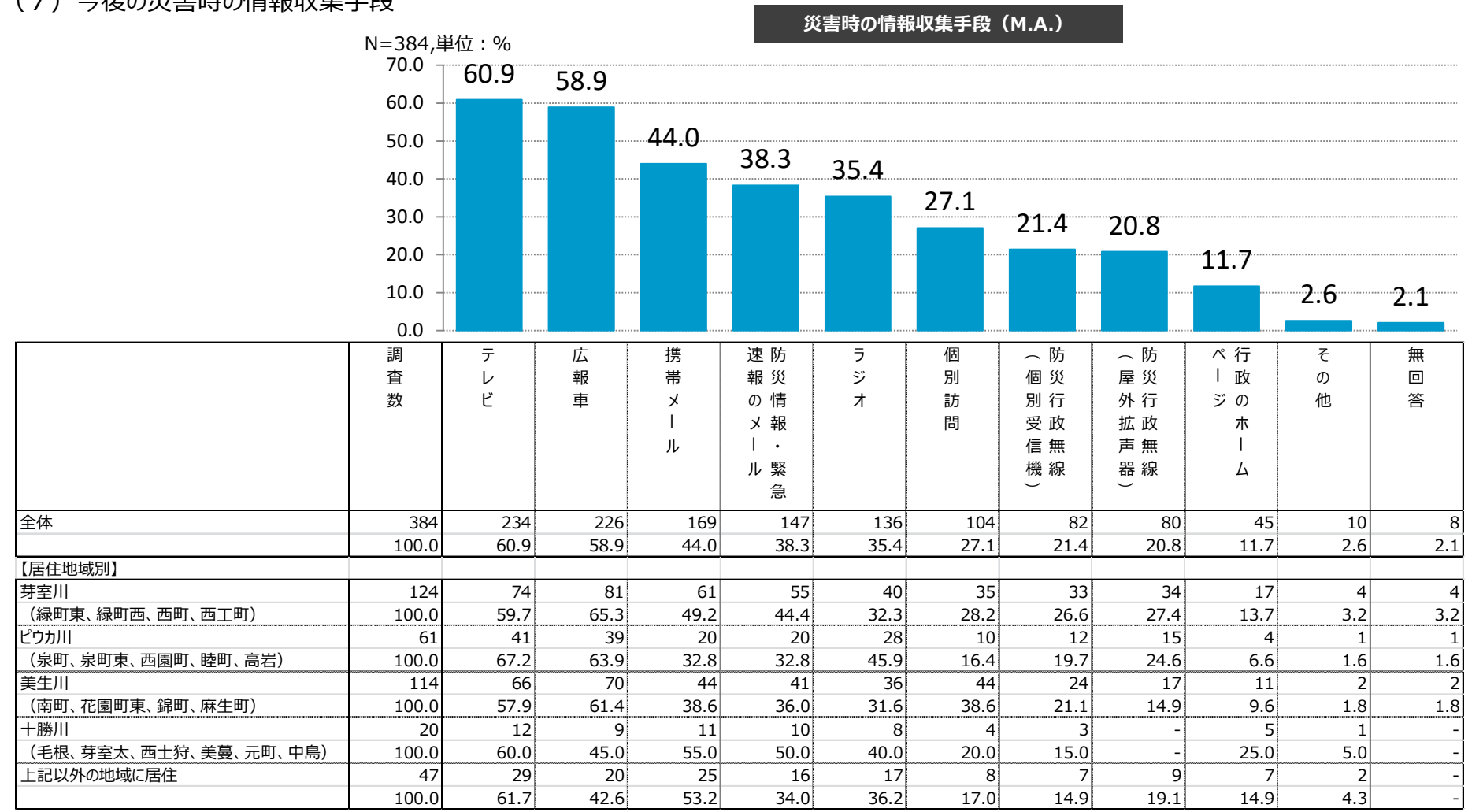
	調査数	出 す 勧 告 を の ど く も し な い 可 能 性 を 上 を 避 は	だ 避 に い 災 害 の 危 険 を 断 絶 し な い 出 す べ き 時 で	無 回 答
全体	384	303	62	19
	100.0	78.9	16.1	4.9
【居住地域別】				
芽室川	124	92	24	8
(緑町東、緑町西、西町、西工町)	100.0	74.2	19.4	6.5
ピウカ川	61	52	9	-
(泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩)	100.0	85.2	14.8	-
美生川	114	93	15	6
(南町、花園町東、錦町、麻生町)	100.0	81.6	13.2	5.3
十勝川	20	19	-	1
(毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島)	100.0	95.0	-	5.0
上記以外の地域に居住	47	38	7	2
	100.0	80.9	14.9	4.3

IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

■ 今後有効だと考える災害時情報の収集手段では、今回の実態に沿って「テレビ」(60.9%)、「広報車」(58.9%)が最も多かった。以下、「携帯メール」(44.0%)、「防災情報・緊急速報のメール」(38.3%)、「ラジオ」(35.4%)などの順となっている。

(7) 今後の災害時の情報収集手段

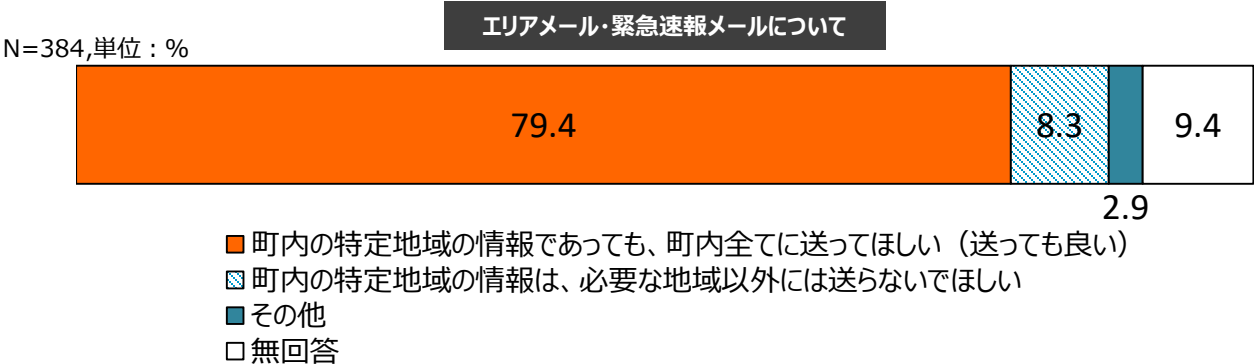


IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

■ 災害時に町が発信する「エリアメール・緊急速報メール」については、特定地域向けの情報であっても町内全てに配信してほしい（してよい）との回答が79.4%となった。

（8）エリアメール等の運用について



	調査数	（全報町内に送っても良い） （町内の特定地域の情報は、必要な地域以外には送らないでほしい）	町内の特定地域の情報は、必要な地域以外には送らないでほしい	その他	無回答
全体	384	305	32	11	36
	100.0	79.4	8.3	2.9	9.4
【居住地域別】					
芽室川 （緑町東、緑町西、西町、西工町）	124	106	11	2	5
	100.0	85.5	8.9	1.6	4.0
ピウカ川 （泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩）	61	47	3	4	7
	100.0	77.0	4.9	6.6	11.5
美生川 （南町、花園町東、錦町、麻生町）	114	89	10	4	11
	100.0	78.1	8.8	3.5	9.6
十勝川 （毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島）	20	17	1	-	2
	100.0	85.0	5.0	-	10.0
上記以外の地域に居住	47	36	7	1	3
	100.0	76.6	14.9	2.1	6.4

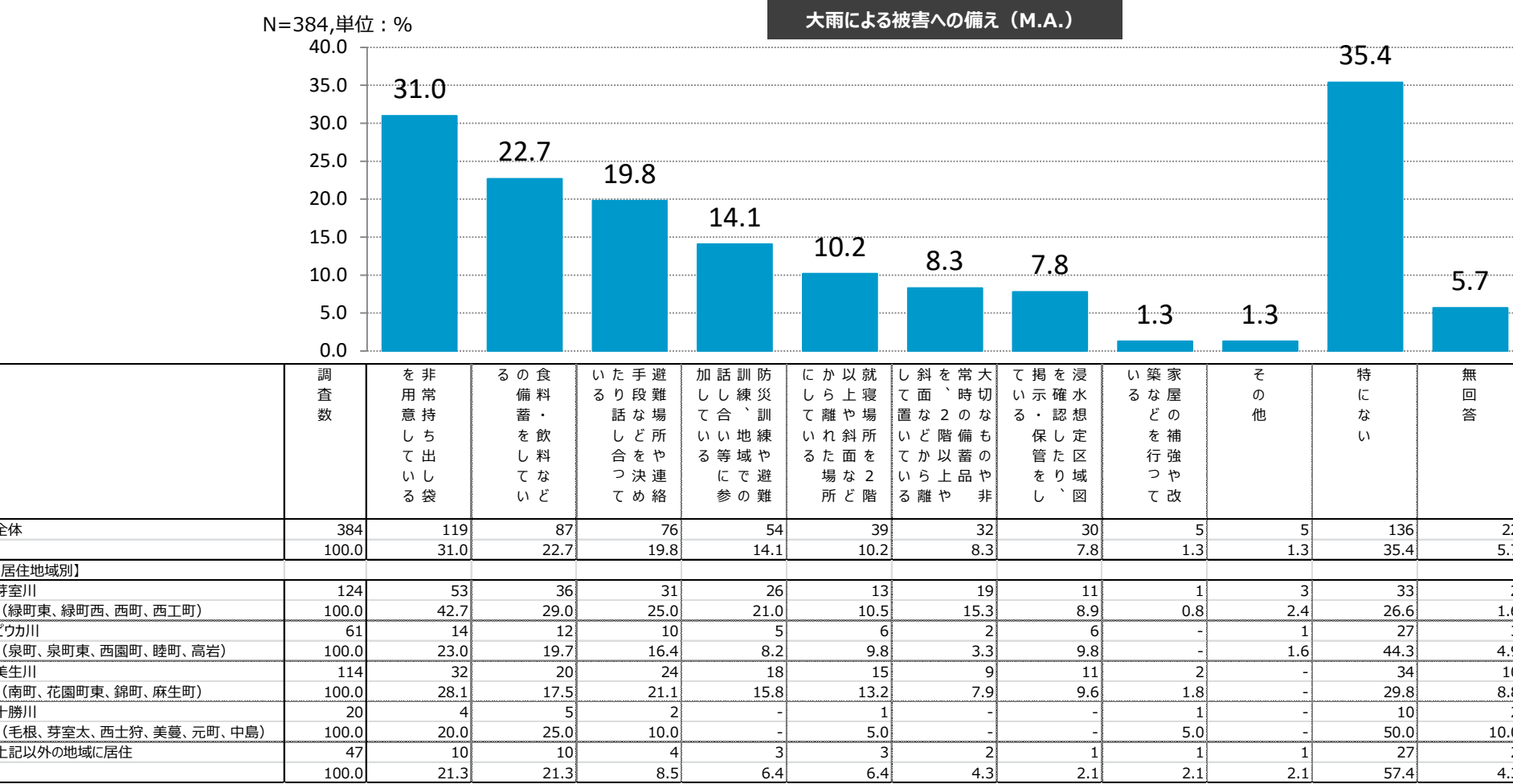
IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

■大雨による被害への備えについては、「非常持ち出し袋を用意している」との回答が31.0%と最も多く、以下、「食料・飲料などの備蓄をしている」（22.7%）、「避難場所や連絡手段などを決めたり話し合っている」（19.8%）などが続いている。

■「特にない」（備えをしていない）との回答が、35.4%となっている。

（9）大雨による被害への備え

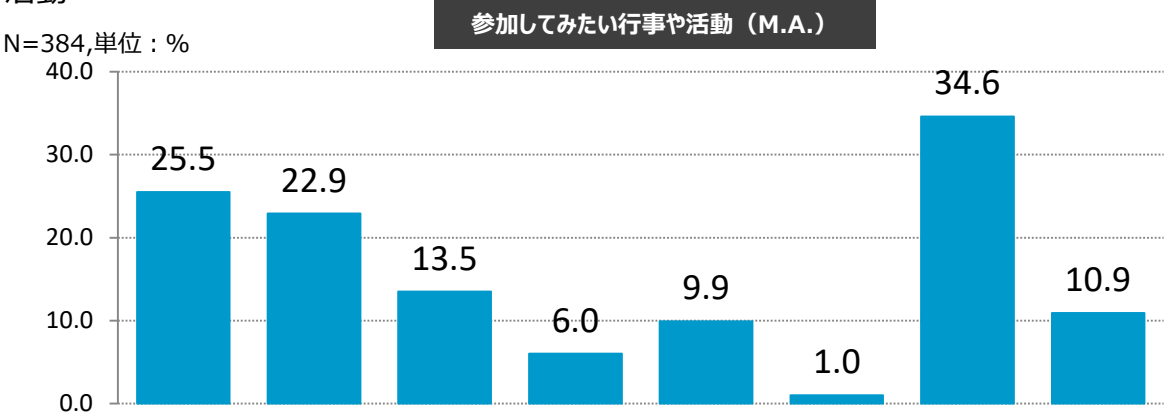


IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

■ 今後の防災を考える上で、住民の参画意向をたずねたところ、「防災訓練・避難訓練」が25.5%、「地域毎の避難場所や方法などについて話し合う集まり」が22.9%といった意向であるのに対し、「特にない」が34.6%という結果であった。

(10) 防災を考える上で参加してみたい行事や活動



	調査数	防災訓練・避難	地域毎の避難場所や方法などについて話し合う集まり	防災意識・研修に関する知識の強化	避難場所の練習・運営	防災等に関する専門家の講演	その他	特にない	無回答
全体	384	98	88	52	23	38	4	133	42
	100.0	25.5	22.9	13.5	6.0	9.9	1.0	34.6	10.9
【居住地域別】									
芽室川	124	37	35	14	6	14	3	41	8
(緑町東、緑町西、西町、西工町)	100.0	29.8	28.2	11.3	4.8	11.3	2.4	33.1	6.5
ピウカ川	61	13	15	7	2	4	-	25	6
(泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩)	100.0	21.3	24.6	11.5	3.3	6.6	-	41.0	9.8
美生川	114	27	24	15	7	8	1	38	16
(南町、花園町東、錦町、麻生町)	100.0	23.7	21.1	13.2	6.1	7.0	0.9	33.3	14.0
十勝川	20	2	5	3	3	2	-	9	3
(毛根、芽室太、西土狩、美蔓、元町、中島)	100.0	10.0	25.0	15.0	15.0	10.0	-	45.0	15.0
上記以外の地域に居住	47	13	5	9	2	9	-	16	4
	100.0	27.7	10.6	19.1	4.3	19.1	-	34.0	8.5

IV. 調査結果の分析

6. 日頃の防災意識・備えなど

今回の大雨災害や日頃の防災などについて具体的な意見を記載している。主な意見を要約すると、以下のような内容であった。

(11) 台風10号災害や日ごろの防災に関する意見

意見欄に寄せられた内容について、論旨によって以下にまとめた。

1. 堤防や堰堤などの整備について

過去に大雨による水害が発生しており、気候変動等により今後も水害の恐れは大きい。堤防や堰堤の対策が不足しており、今後の防災上は力を入れてほしい旨の意見があった。

2. 避難場所の確認、ハザードマップの活用について

現在の洪水ハザードマップがインターネット上で探しにくいことや見にくいことの指摘、今回の大雨による浸水実績や通行できなくなった道路の情報等を含めた新たなマップの必要性に関する意見などがあった。また、今回の経験で最寄りの避難場所を予め確認することの必要性を実感したなどの意見もみられた。

3. 避難場所の確認や場所の是非について

上記2に記載したように、今回の経験で最寄りの避難場所を予め確認することの必要性を実感するとともに、それらが浸水域の自宅の近くにあったり、河川の近くにあったりすること、さらに道路や橋が通行不能になることなどについて、不安を述べる意見があった。

4. 避難勧告・避難指示のタイミングについて

避難勧告・避難指示のタイミングの遅さについては、問8-2(今後の災害時に町からどのような情報発信があると良いか)の回答と重複するものもみられた。実際に、危険の察知が遅れたことで、避難を開始したときには、すでに周辺まで水が迫っていたり、車などの家財を失ったりした経験も記されていた。

5. 避難訓練や防災活動について

上記2のようなマップの作成や活用、避難場所の確認の必要性に加え、今回のような災害を想定した防災訓練の実施、町内会における防災組織の立ち上げや機能のさせ方、避難所運営の課題などに関する意見があった。

V. 調査票（見本）

※調査票の実寸はA4版

平成28年8月・台風10号に関するアンケート

記入にあたってのお願い

- アンケートが送付された「あて名のご本人」またはそれに代わる方に回答をお願いいたします。
- 質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- 「○は1つ」、「あてはまるもの全てに○」など、回答数の指定に従ってお答えください。
- その他の（ ）内や意見を記入する欄には、ご自身のお考えなどを具体的にご記入ください。
- 回答は無記名でお願いします（住所や氏名のご記入は必要ありません）。
回答内容から個人が特定されることは絶対にありません。

8月30～31日の様子や、感じたこと、行動などについておたずねします

平成28年8月19日に発生した台風第10号は、8月30日夕刻から31日にかけて北海道を通して、十勝総合振興局管内に大雨警報・洪水警報が発表されました。芽室町では8月30日の16時20分に災害対策本部を設置、23時30分以降順次、各対象地区に対して避難指示・避難勧告を発令しました。当時の様子や、感じたこと、行動などについてお伺いします。

問1 8月30日～31日に発生した大雨によって、お宅はどのような被害を受けましたか。

（あてはまるもの全てに○）

1. 床上浸水をした
2. 床下浸水をした
3. 住宅が一部または全・半壊の被害を受けた
4. 家財が被害を受けた
5. 住宅には被害がなかったが、物置や自動車などが被害を受けた
6. 自分もしくは家族がけがをした
7. 停電した
8. 固定電話が不通になった
9. その他（ ）
10. 上記のような被害はなかった

問2 あなたは、8月30日の17時頃から翌朝にかけて、主にどこにいましたか。（○は1つ）

1. ずっと自宅にいた
2. その時間帯に帰宅した
3. 自宅にいたが、自宅外に避難した
4. 避難したわけではないが、外出していた
5. その他（ ）
6. 覚えていない
7. その時間帯には自宅にいなかった

問3 あなたは、8月30日の17時頃から翌朝にかけての激しい雨について、どのように思いましたか。（○は1つ）

1. 今まで経験したことがないほど、激しい豪雨だと思っていた
2. よくある豪雨より、かなりひどい豪雨だと思っていた
3. よくある豪雨より、ややひどい豪雨だと思っていた
4. よくある豪雨だと思っていた
5. ずっと就寝していたので、わからなかった
6. ずっと起きていたが、建物内にいたので、わからなかった
7. 覚えていない

問4 当時、芽室町や気象庁から様々な情報が出されました。あなたは、つぎのような情報を見聞きしましたか。つぎの中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

（あてはまるもの全てに○）

また、その情報を最初に聞いた時刻を覚えていたら、（ ）内にお書きください。

※時刻は24時制で記入してください

1. 大雨（土砂災害）警報（ ）時頃
2. 大雨（浸水害）警報（ ）時頃
3. 洪水警報（ ）時頃
4. 土砂災害警戒情報（ ）時頃
5. 避難勧告（ ）時頃
6. 避難指示（ ）時頃
7. そのような情報は聞いていない

問5 あなたは、どのような情報源からこれらの情報を入手しましたか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. テレビ | 9. 芽室町の広報車による呼びかけ |
| 2. ラジオ | 10. 芽室町の戸別訪問などによる呼びかけ |
| 3. 北海道庁の防災情報ホームページ | 11. 家族・親族や友人・知人からの電話連絡 |
| 4. 芽室町のホームページ | 12. 家族・親族や友人・知人からのメール |
| 5. その他の防災に関するホームページ | 13. 町内会の連絡網 |
| 6. 北海道庁からの防災情報メール | 14. 近所の人の呼びかけ |
| 7. その他の防災情報を伝えるメール | 15. その他（ ） |
| 8. ツイッター、フェイスブック、ラインなど | 16. どこからも情報を得ていない |

VI. 調査票（見本）

問6 8月30日から31日にかけて、芽室町では下表のような避難勧告・避難指示を発令しました。
（参考資料：地域別避難勧告等発令状況）

河川名	発令状況	発令日時	対象地域
芽室川	避難勧告	8月31日 0時30分	緑町東、緑町西、西町、西工町
	避難指示	8月31日 1時13分	
ピウカ川	避難勧告	8月31日 3時55分	泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩
美生川	避難指示	8月30日 23時30分	南町、花園町東、錦町、麻生町
十勝川	避難勧告	8月31日 1時20分	毛根、芽室太、西士狩、美蔓、元町、中島

（1）8月30日当時のあなたのお住まいの地域は、この対象地域にあてはまりますか。（○は1つ）

1. 芽室川（緑町東、緑町西、西町、西工町）
2. ピウカ川（泉町、泉町東、西園町、睦町、高岩）
3. 美生川（南町、花園町東、錦町、麻生町）
4. 十勝川（毛根、芽室太、西士狩、美蔓、元町、中島）
5. 上記以外の地域に居住

（2）8月30日から31日にかけて、あなたはこうした避難勧告・避難指示を見聞きましたか。
（○は1つ）

1. 自分の住んでいる地域の避難勧告・避難指示を見聞きました
2. 自分の住んでいる地域ではないが、避難勧告・避難指示を見聞きました
3. 避難勧告・避難指示を見聞しなかった → 問7へ
4. わからない・よく覚えていない

【上記（2）で1、2（避難勧告・避難指示を見聞きました）と答えた人にお聞きします】

（3）避難勧告・避難指示を見聞きて、どう感じましたか（○は1つ）

1. 災害に巻き込まれると思い、大変危険を感じた
2. 災害に巻き込まれるかもしれないと思い、多少危険を感じた
3. 災害に巻き込まれる危険は感じなかった → 問7へ

【上記（3）で1、2（大変危険を感じた、多少危険を感じた）と答えた人にお聞きします】

（4）避難勧告・避難指示を見聞きた後、あなたはどのようなことをしましたか。

（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 1. テレビやラジオの情報に注意した | 7. 親戚・友人・知人と連絡を取り合った |
| 2. 町のエリアメール・緊急通報メールに注意した | 8. 町役場に問い合わせをした |
| 3. 北海道の防災情報メールに注意した | 9. 火の始末やガスや灯油の元栓を閉めたり、持ち出し品の用意をししたりした |
| 4. 外に出て実際に川などを見て確かめた | 10. 避難した |
| 5. 家族と電話で連絡を取り合った | 11. その他（ ） |
| 6. 町内会の役員等と連絡を取り合った | 12. 特に何もなかった |

【再び全員にお聞きします】

問7 8月30日から31日にかけて、あなたはどこかに避難しましたか。（○は1つ）

1. 避難しなかった → 問7-5へ
2. 自宅の2階など、高いところ上がった → 問7-6へ
3. 自宅から離れて避難した → 問7-1へ

【問7で3（自宅から離れて避難した）と答えた人にお聞きします】

問7-1 避難した場所はどこですか。

（○は1つ）

1. 芽室町の指定避難場所・福祉避難所
2. 親戚・友人・知人の家
3. その他（ ）

問7-2 避難所で困ったことはありませんでしたか。

（あてはまるもの全てに○）

1. 避難所に着いたときに鍵が開いていなかった
2. 避難所に着いたときに知合いがいなかった
3. 食料がなかった・足りなかった
4. 衣類・タオル等がなかった・足りなかった
5. 避難者が多く、避難スペースが不足した
6. 現在の状況について情報が不足した
7. 今後の見通しについて情報が不足した
8. その他（ ）
9. 特になし

問7-3 あなたがその場所へ避難したのはいつ頃ですか。（○は1つ）

※時刻は 枠内に24時制で記入してください

1. 8月30日 枠内 時頃
2. 8月31日 枠内 時頃

問7-4 あなたはその場所へどのように避難しましたか。（○は1つ）

1. 徒歩で
2. 車で
3. その他（ ）

次ページの問7-6に進んでください

【問7で1（避難しなかった）と答えた人にお聞きします】

問7-5 あなたは、なぜ避難をしなかったのですか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 居住地域に避難勧告・指示が出ていなかったから | 8. 外に出られないような雨の強さだったから |
| 2. 居住地域に避難勧告・指示が出ているとわからなかったから | 9. 高齢者や乳幼児、体が不自由な者がいたから |
| 3. エリアメール・緊急速報メールが届かなかったから | 10. 以前避難したが、災害がなかったから |
| 4. 自宅にいても安全だと思ったから | 11. 指定されている避難場所が遠かったから |
| 5. 避難する自家用車がなかったから | 12. どこに避難すれば良いか、わからなかったから |
| 6. 大雨の時に避難したことがないから | 13. 自宅にペットがいたから |
| 7. 災害が起こるような大した雨ではないと思ったから | 14. 避難所が人でいっぱいだったから |
| | 15. その他（ ） |

次ページの問8-1に進んでください

VI. 調査票（見本）

【問7で2, 3（自宅の2階など高いところや、自宅から離れて避難した）と答えた人にお聞きします】

問7-6 あなたは、なぜ避難をしたのですか。（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. 避難勧告・避難指示を見聞きしたから | 10. 最寄りの避難場所がどこにあるか知っていたから |
| 2. 自宅では危険だと思ったから | 11. 避難場所に行けば近所の人たちが集まっていると思ったから |
| 3. 家族や近所の人から避難を勧められたから | 12. 避難場所に行けば災害情報や行政からの情報を見ることができると思ったから |
| 4. 避難する手段があったから | 13. 避難場所に食料などがそろっていると思ったから |
| 5. ひとりでは不安だったから | 14. その他（ ） |
| 6. 今までに経験したことがないような雨だったから | |
| 7. 外に出られるような雨の強さだったから | |
| 8. 高齢者や乳幼児、体が不自由な者がいたから | |
| 9. 指定されている避難場所が近くにあったから | |

【再び全員にお聞きします】

問8-1 当時、町では災害時における避難情報等を発信しましたが、内容は十分だと感じましたか。それとも不十分だと感じましたか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 十分な内容だった | 3. やや不十分な内容だった |
| 2. まあ十分な内容だった | 4. 不十分な内容だった |

問8-2 今後の災害時には、町からどのような情報発信があると良いか、ご意見などがあれば具体的にお願いします。

ここからは、日ごろの防災対策やお考えなどについておたずねします

問9 土砂災害のおそれがある場合には、天気が良くても避難勧告等が継続されることがあり、危険な状態が続くことがあります。あなたは、このことを知っていましたか。（○は1つ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問10 あなたの近所にある、町の指定避難場所を知っていましたか。（○は1つ）

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった | → 問12へ |
|----------|-----------|--------|



【問10で1（知っていた）と答えた人にお聞きします】

問11 お宅から、その指定避難場所まで安全に避難することができますか。（○は1つ）

（1）積雪がない時期

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 安全に避難できると思う | 2. 安全に避難できないと思う |
|----------------|-----------------|

（2）積雪がある時期

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 安全に避難できると思う | 2. 安全に避難できないと思う |
|----------------|-----------------|

【再び全員にお聞きします】

問12 あなたは、茅室町の「浸水想定区域図（洪水ハザードマップ）」を見たことはありますか。

（○は1つ）

- | | |
|--------------------------|------------|
| 1. 壁に貼るなど、すぐ見られる状態になっている | 3. 見たことはある |
| 2. 時々、見ることがある | 4. 見たことがない |

問13 あなたは、「避難」という言葉に対して、どのようなイメージを持っていますか。

（あてはまるもの全てに○）

- | |
|----------------------------|
| 1. 災害発生後に、安全な場所に移動をする |
| 2. 災害が発生する前に、安全な場所に移動をする |
| 3. 屋外に移動する |
| 4. 丈夫な建物の中に移動する |
| 5. 建物の高層階に移動する |
| 6. 建物の中で斜面と反対側に移動する |
| 7. 今いる場所から他の場所に移動する |
| 8. 必ずしもその時にいる場所から移動する必要はない |
| 9. その他（ ） |
| 10. わからない |

問14 災害時の情報について、あなたのお考えはどちらに近いですか。（○は1つ）

（1）情報の詳細さ、簡潔さについて

- | |
|--------------------|
| 1. もっと細かく詳細な情報がほしい |
| 2. もっと単純で簡潔な情報がほしい |

（2）情報の「空振り」（避難情報の発令後も、災害・被害等が生じない場合）について

- | |
|--|
| 1. 実際に災害が発生しなかったとしても、可能性のある以上は空振りを恐れず、避難勧告・避難指示を出すべきだ |
| 2. できるだけ空振りはしないように、災害の危険が迫っていると判断された時に限って避難勧告・避難指示を出すべきだ |

問15 あなたは、災害時の情報収集手段として、今後どのような方法が有効だと考えますか。

（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. テレビ | 6. 個別放送 |
| 2. ラジオ | 7. 防災行政無線（屋外拡声器） |
| 3. 行政のホームページ | 8. 防災行政無線（個別受信機） |
| 4. 防災情報・緊急速報のメール | 9. 携帯メール |
| 5. 広報車 | 10. その他（ ） |

VI. 調査票（見本）

問 1 6 あなたは、災害時に町から発信する「エリアメール・緊急速報メール※」について、今後どうあるべきだと思いますか。（○は1つ）

1. 町内の特定の地域に関する情報であっても、町内全てに送ってほしい（送っても良い）
2. 町内の特定の地域に関する情報は、必要な地域以外には送らないでほしい
3. その他（ ）

※「エリアメール・緊急速報メール」…災害時などの緊急時、事前登録がなくても茅室町全域に携帯電話・スマートフォンへ強制的に情報を配信する仕組み。災害発生時であれば、深夜でも情報を配信される。また、町内対象であっても、隣接する他市町村にも配信されることもある。

問 1 7 お宅では、大雨による被害に備えて行っていることはありますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 避難場所や連絡手段などを決めたり話し合っている
2. 就寝場所を2階以上や斜面などから離れた場所にしている
3. 大切なものや非常時の備蓄品を、2階以上や斜面などから離れた場所に置いている
4. 非常持ち出し袋を用意している
5. 食料・飲料などの備蓄をしている
6. 浸水想定区域図（洪水ハザードマップ）を確認したり、掲示・保管をしている
7. 家屋の補強や改築などを行っている
8. 防災訓練や避難訓練、地域での避難などに関する話し合い等に参加している
9. その他（ ）
10. 特になし

問 1 8 今後の防災を考える上で、参加してみたい行事や活動はありますか。（あてはまるもの全てに○）

1. 防災に関する専門家等による講演
2. 防災訓練・避難訓練
3. 防災に関する知識を学ぶ勉強会・研修
4. 避難所の運営に関する練習・訓練
5. 地域ごとの避難場所や方法などについて話し合う集まり
6. その他（ ）
7. 特になし

問 1 9 2016年8月の台風10号による大雨による災害や、日ごろの防災などについてご意見などがあれば、具体的にお書きください。

次のページが最後です。引き続きお答えください

後に、統計的な分析のために、ご自身についておたずねします

F 1 性別（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 年齢（○は1つ）

- | | | |
|----------|---------|----------|
| 1. 19歳以下 | 4. 40歳代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | |

F 3 職業（○は1つ） ※2016年8月30日当時でお答えください

- | | | |
|--------|--------------|------------|
| 1. 会社員 | 4. 農林水産業 | 7. 専業主婦・主夫 |
| 2. 公務員 | 5. パート・アルバイト | 8. 学生 |
| 3. 自営業 | 6. 無職 | 9. その他（ ） |

F 4 ご自身を含めて同居のご家族の中に、次のような方はいますか。（あてはまるもの全てに○）

※2016年8月30日当時でお答えください

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 小学生以下の子ども | 3. 体の不自由な人、寝たきりの人 |
| 2. 65歳以上の高齢者 | 4. 該当する人はいない |

F 5 あなたのご自宅はつぎのうちどれにあたりますか。（○は1つ）

※2016年8月30日当時でお答えください

- | |
|-------------------------|
| 1. 一戸建て平屋 |
| 2. 一戸建て2階建て以上 |
| 3. 集合住宅（ ）階建ての ）階に住んでいる |
| 4. その他（ ） |

F 6 あなたのご自宅の構造はつぎのうちどれにあたりますか。（○は1つ）

※2016年8月30日当時でお答えください

- | | | |
|-------|---------|-----------|
| 1. 木造 | 2. 木造以外 | 3. その他（ ） |
|-------|---------|-----------|

F 7 あなたのご自宅は、河川からどの程度離れていますか。（○は1つ）

※2016年8月30日当時でお答えください

- | | | |
|--------------|---------------|----------------|
| 1. 10m未満 | 3. 30m～50m未満 | 5. 100m～300m未満 |
| 2. 10m～30m未満 | 4. 50m～100m未満 | 6. 300m以上 |

質問は以上です。

ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

平成28年8月・台風10号に関するアンケート調査結果報告書

発行 平成29年3月

- 本調査は、北海道芽室町、株式会社サーベイリサーチセンターによる共同調査研究です。
- 引用、転載にあたっては、上記の共同調査研究であることを明記して使用してください。
- ご不明な点など、問い合わせについては、お手数ですが下記までご連絡ください。

北海道芽室町

- 組織名 北海道芽室町
- 所在地 北海道河西郡芽室町東2条2丁目14
- 担当部門 総務課地域安全係
- 連絡先 TEL 0155-62-9720
- E-mail j-koutsu@memuro.net

株式会社サーベイリサーチセンター

- 組織名 株式会社サーベイリサーチセンター
- 所在地 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号
- 担当部門 広報・法務部
- 連絡先 TEL 03-3802-6711（代表）
- E-mail src_support@surece.co.jp

サーベイリサーチセンター会社概要

本社 〒116-8581 東京都荒川区西日暮里2-40-10
事務所 札幌・盛岡・仙台・静岡・名古屋・大阪・岡山・広島・高松・福岡・熊本・（那覇 2017年度開設予定）
* 北海道事務所 北海道札幌市中央区北一条東2-5-3 TEL011-206-7931（代表）
* 東北事務所 宮城県仙台市青葉区一番町2丁目4番1号 TEL022-225-3871（代表）

設立 1975年2月
資本金 6,000万円
売上高 56億円（2015年度）
代表取締役 藤沢 昌樹
主要事業 世論調査・行政計画策定支援／都市計画調査・交通計画調査／マーケティングリサーチ など
所属団体 日本世論調査協会／日本マーケティング・リサーチ協会／日本マーケティング協会
日本災害情報学会／交通工学研究会 など